

2021（令和3）年度

「伊賀市多文化共生のまちづくりアンケート調査結果」

＜報告書＞

2022（令和4）年6月

人権生活環境部多文化共生課

目次

I. 調査概要	・・・ p. 1
1. 調査の目的	
2. 調査対象	
3. 調査の方法・回収結果	
4. 調査期間	
II. 調査結果	・・・ p. 2
1. 日本人	・・・ p. 2
2. 外国人	・・・ p. 3
3. 事業所・団体	・・・ p. 5
III. 調査結果の分析	・・・ p. 6
1) 日本人住民・外国人住民	
①住みやすさ	・・・ p. 6
②日常生活における会話機会	・・・ p. 11
③日常生活における交流	・・・ p. 15
④友人・同僚の有無	・・・ p. 18
⑤地域活動等への参加	・・・ p. 20
⑥語学力	・・・ p. 23
⑦日本語学習	・・・ p. 25
⑧人権と外国人の将来不安	・・・ p. 28
2) 事業所・団体	・・・ p. 30
①外国人雇用	・・・ p. 30
②外国人従業員へのコミュニケーション支援	・・・ p. 36
IV. 参考資料	・・・ p. 40
伊賀市多文化共生のまちづくりアンケート調査票	
＜日本人住民向け＞	・・・ p. 41
＜外国人住民向け＞	・・・ p. 46
＜事業所・団体向け＞	・・・ p. 56

I. 調査概要

1. 調査の目的

伊賀市では、安全で安心な暮らしができるまちづくりを目標にさまざまな多文化共生の取り組みを進めており、2021（令和3）年8月に「伊賀市多文化共生指針」を策定しました。2022（令和4）年度には、指針の基本理念である互いの文化的背景や多様性を認め合い住みよさが実感でき、ともに新たな価値を創造する社会の実現に向け、「伊賀市多文化共生推進プラン」を策定します。

本調査は、伊賀市在住者及び事業所等を対象としたアンケート調査を通じて本市の現状及び将来的な展望などを把握し、プラン策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象

- ①市内在住の日本人（18歳以上）
- ②市内在住の外国人（18歳以上）
- ③市内の事業所・団体

3. 調査の方法・回収結果

- ・市民に対しては、住民基本台帳より無作為抽出で、アンケート協力依頼はがきを日本人 2,000 通、外国人 500 通に発送した。
- ・事業所・団体には、業種のバランスを考慮の上、無作為抽出によりアンケート調査票を 100 通発送した。
- ・その他、広報いが 12 月号、市ホームページ、多文化共生センターフェイスブック及びホームページ、市民生活課窓口、多文化共生センター窓口、成人式、各種団体へ協力依頼を行った。
- ・回答方法については、ウェブアンケートフォーム（Google フォーム）及び調査票により行った。
- ・外国人住民に対しては、日本語ルビ付に加え、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、中国語、タイ語の 6 言語に翻訳したものを使用した。

【回収結果】

日本人からの回答 560 件

外国人からの回答 151 件

事業所・団体等 63 件

合計 774 件

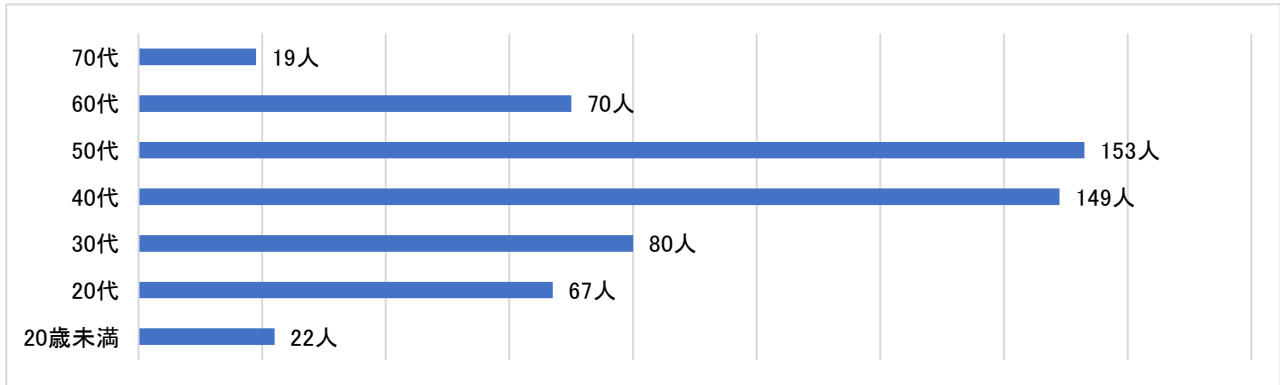
4. 調査期間

令和3（2021）12月15日～令和4年1月10日

Ⅱ. 調査結果

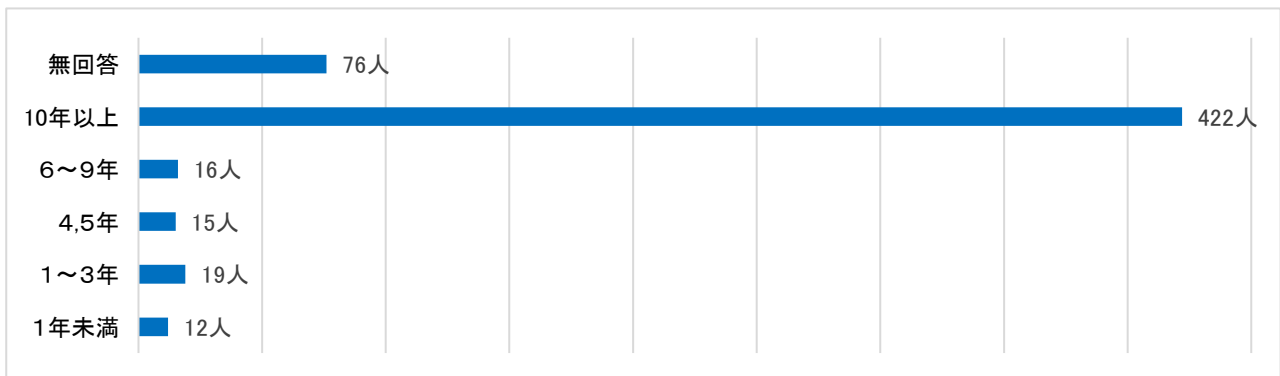
1. 日本人（回答数：560人）

【年代別】



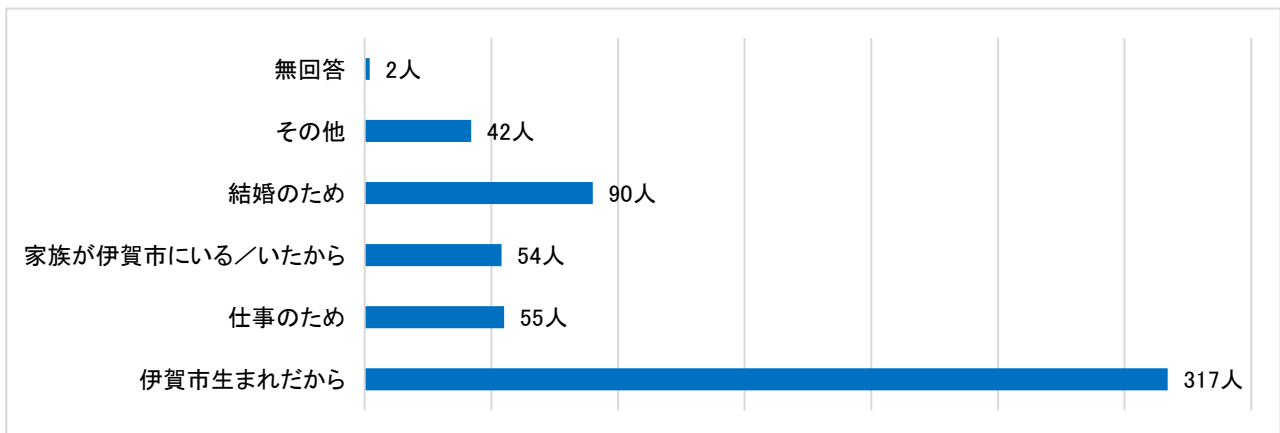
18歳以上70歳代までの方から回答があった。40代、50代が回答者の半数以上を占めている。

【居住年数別】



伊賀市の在住歴は10年以上の人が75%と最も多い。

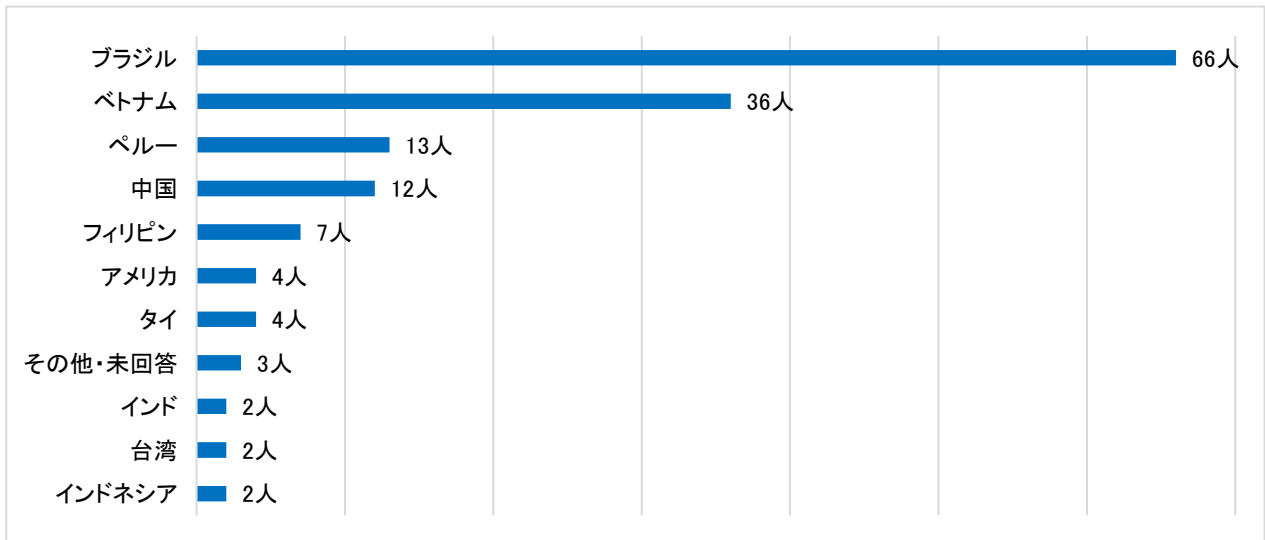
【居住理由別】



伊賀市に居住している理由は「伊賀市生まれだから」が最も多く全体の56%であった。

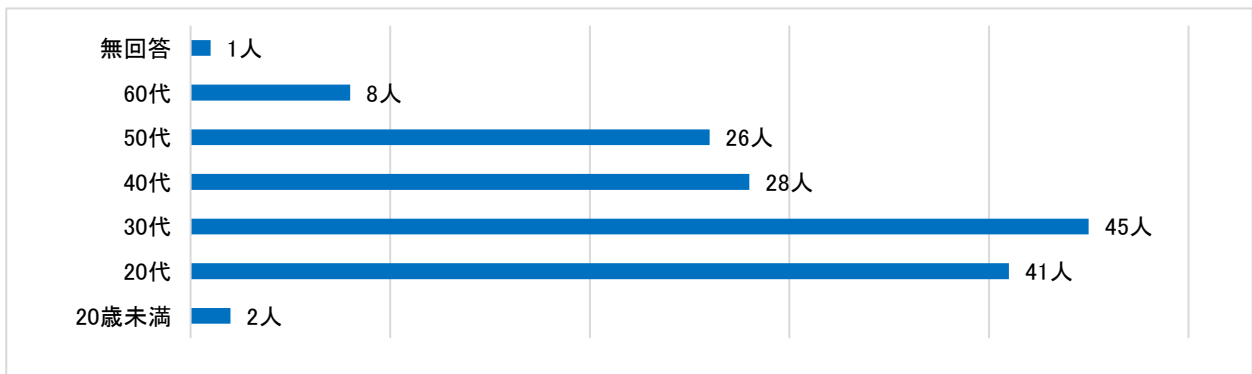
2. 外国人（回答数：151人）

【国籍別】



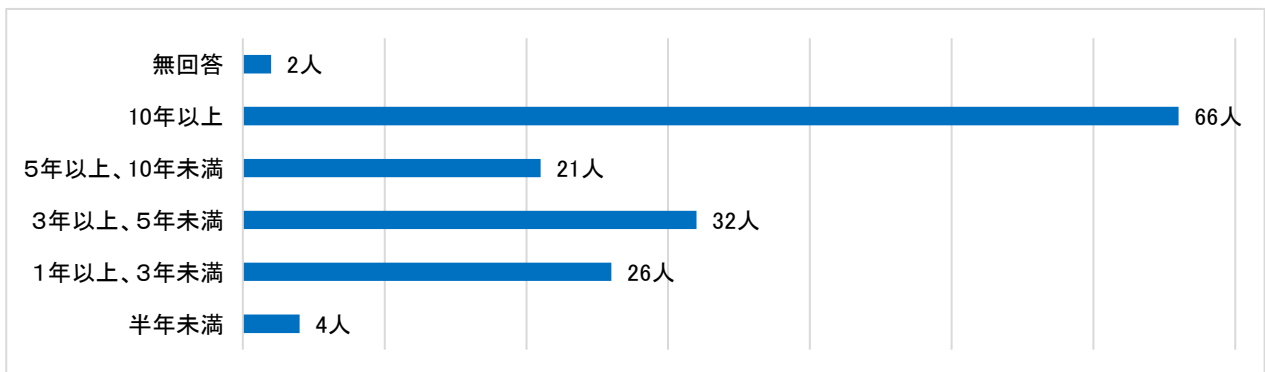
回答者のうち約4割がブラジル国籍で、ベトナム国籍が2割を占めている。これは、伊賀市の全外国籍住民数における割合とほぼ一致している。

【年代別】



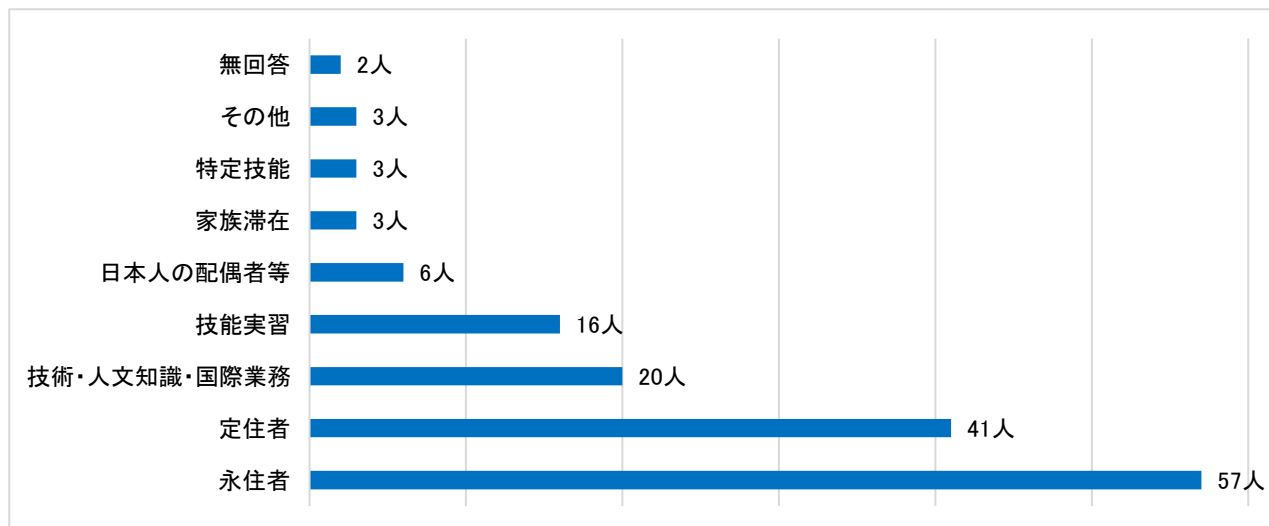
18歳以上60歳代までの方から回答があった。20代、30代が回答者の半数以上を占めている。

【居住年数】



伊賀市の在住歴は10年以上の人が44%と最も多い。

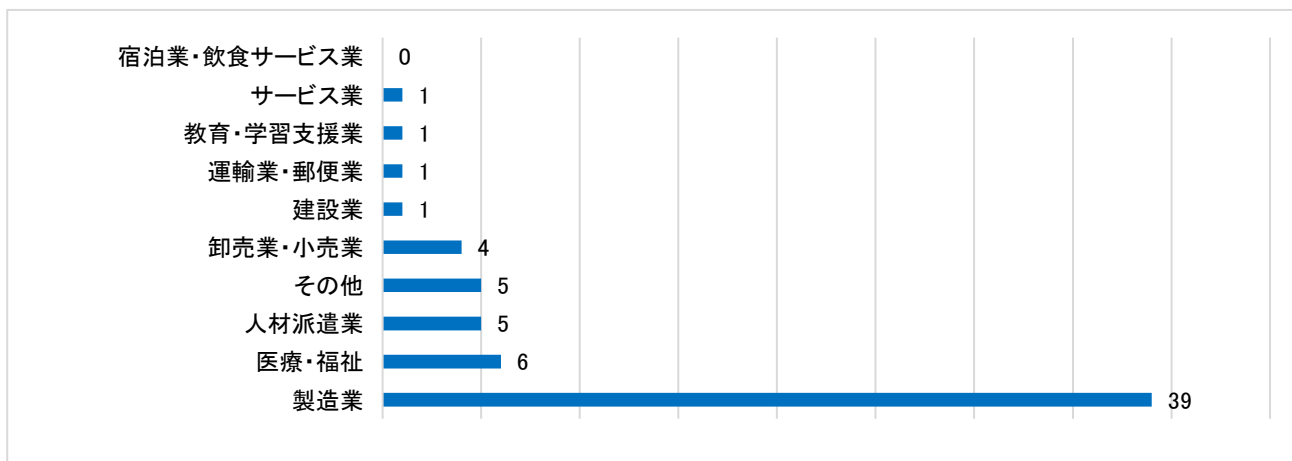
【在留資格】



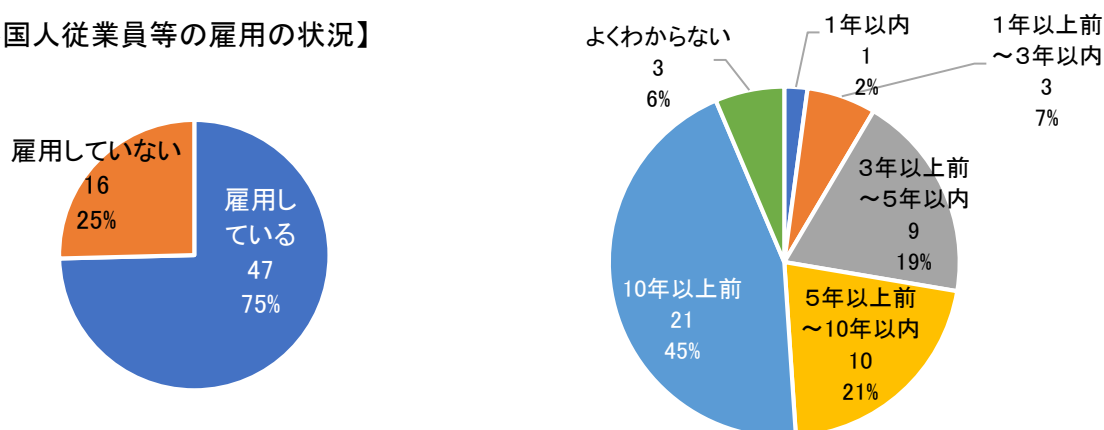
回答者のうち約3割を永住者が、約2割を定住者が占めている。これは、伊賀市の全外国籍住民数における割合とほぼ一致している。

3. 事業所・団体（回答数：63件）

【回答のあった業種】



【外国人従業員等の雇用の状況】



外国人従業員の雇用があると答えた事業所・団体は、全体の75%であり、このうち雇用し始めたのが10年以上前であると回答したものが45%あった。

【雇用形態と人数】（単位：事業所・団体）

	正社員	契約社員 (直接雇用)	契約社員 (間接雇用)	派遣・請負	パート・ アルバイト	その他
1～5人	18	8	2	7	9	3
6～9人	2	1	0	2	0	1
10～19人	1	2	0	4	1	1
20～29人	1	2	0	2	0	1
30～39人	1	0	1	1	0	0
40～49人	0	0	0	1	0	0
50～99人	2	1	0	1	0	0
100人以上	0	1	0	1	0	1
不明	0	0	0	1	0	0

雇用形態別では、正社員、派遣・請負、契約社員などが多い。

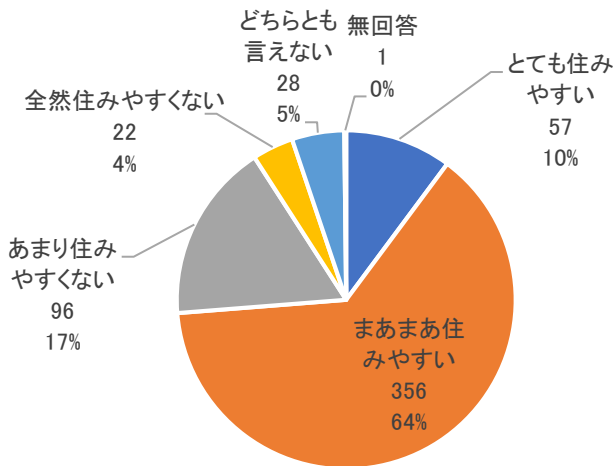
Ⅲ. 調査結果の分析

1) 日本人住民・外国人住民

① 住みやすさ

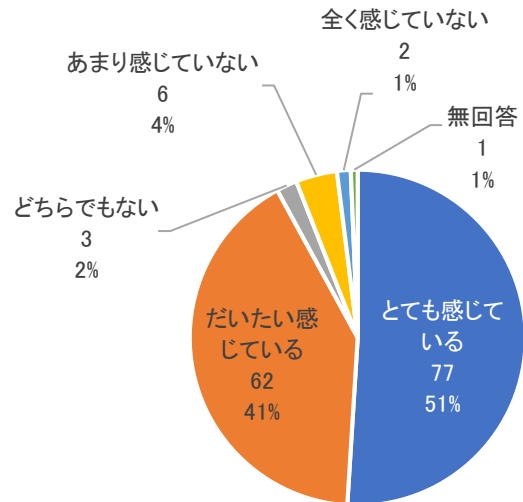
(日本人)

問9 伊賀市の住みやすさを教えてください。



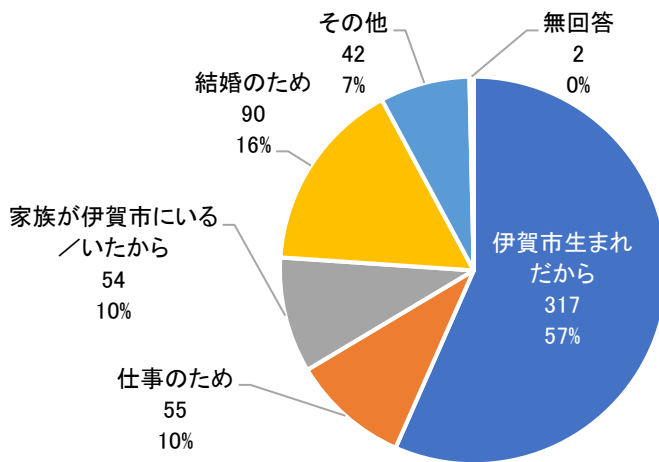
(外国人)

問14 伊賀市に住んで良かったと感じていますか。



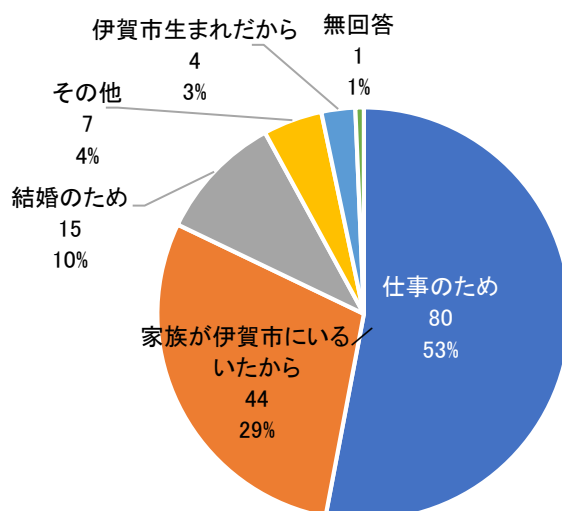
日本人では住みやすいと答えた人の割合は74%で、外国人が伊賀市に住んで良かったと感じている割合は92%であった。

(日本人) 問6 伊賀市に住んだ理由を教えてください。



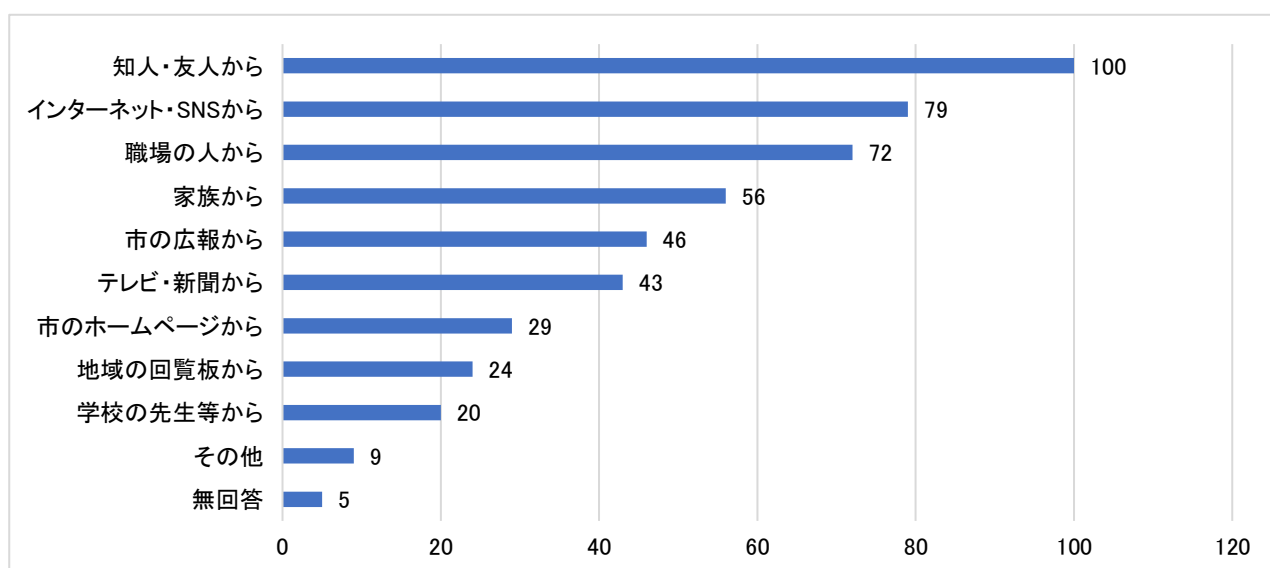
日本人が伊賀市に住んだ理由は「伊賀市生まれだから」が最も多く全体の約6割であった。次いで、結婚のため、仕事のため、家族が伊賀市にいる/いたからとなっている。

(外国人)問 11 伊賀市に住んだ理由は何ですか。



外国人が伊賀市に住んだ理由は「仕事のため」が最も多く全体の約半数であり、次いで家族が伊賀市にいる／いたから、結婚のためとなっている

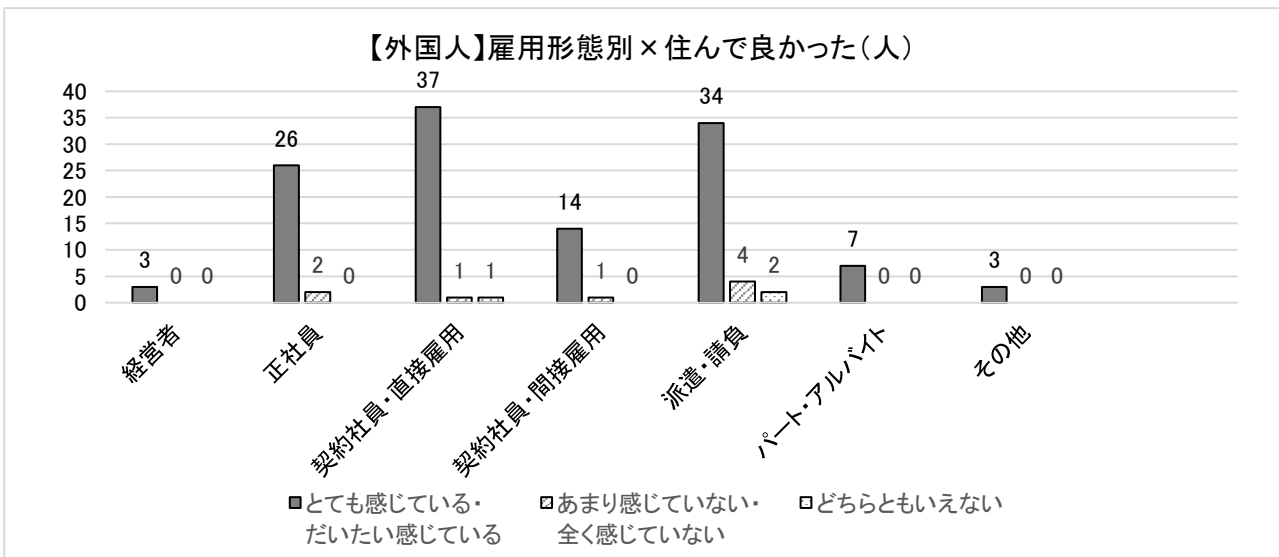
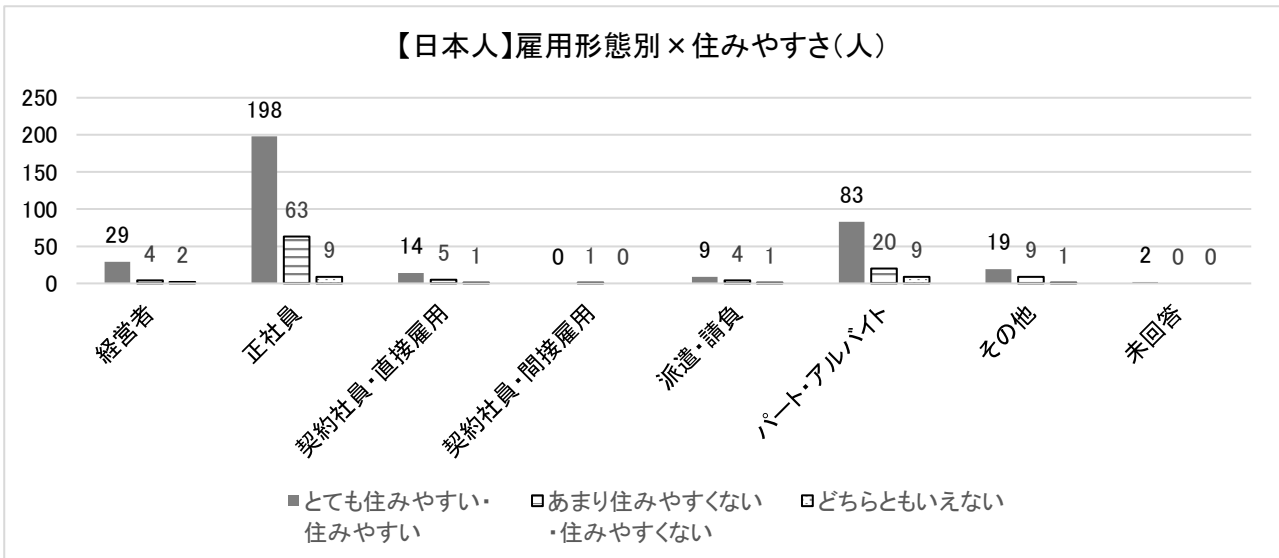
(外国人) 問 24 あなたは、日常生活に必要な情報をどこから入手していますか。(複数選択可) N値＝483



外国人の主な情報収集の方法は上記のとおりで、全体の約4割が、知人・友人や職場の人、学校の先生等、身近な人を介して情報を得ていた。次いでインターネット・SNSからが多かった。

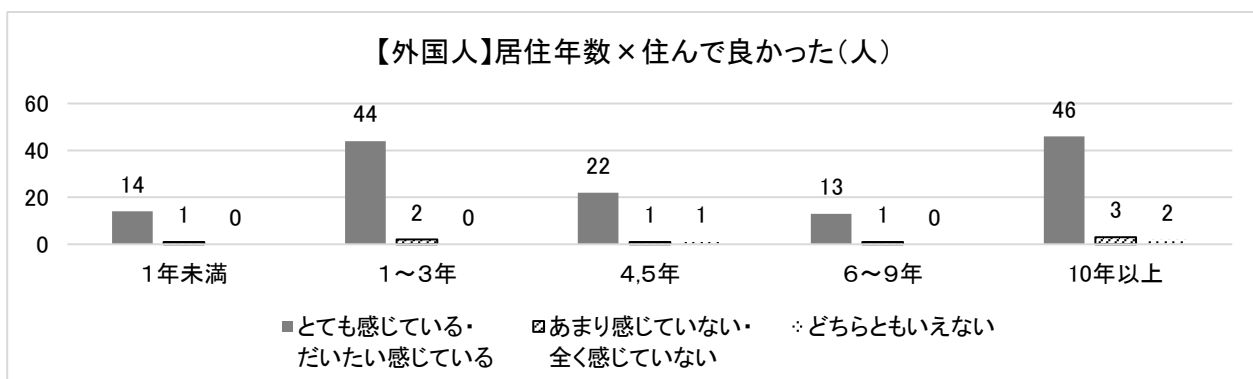
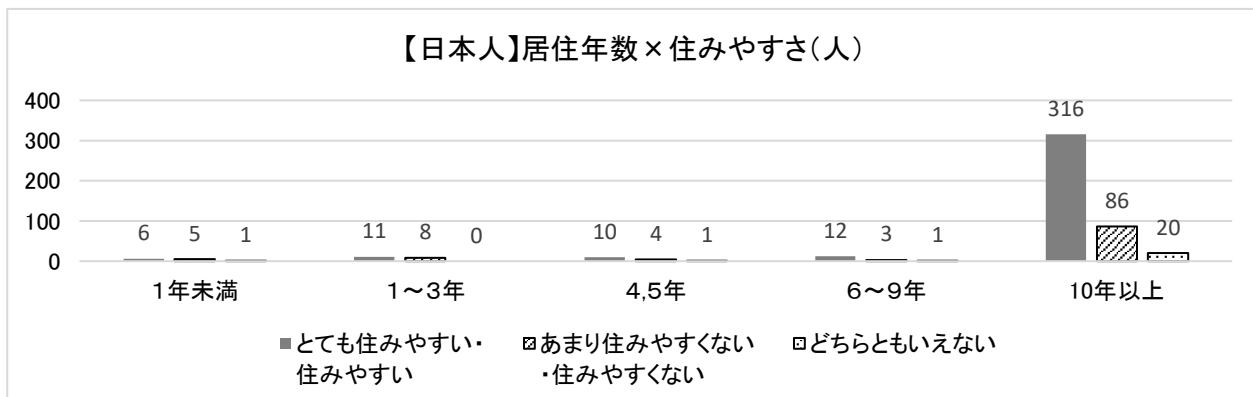
クロス集計結果

(住みやすさ×仕事)



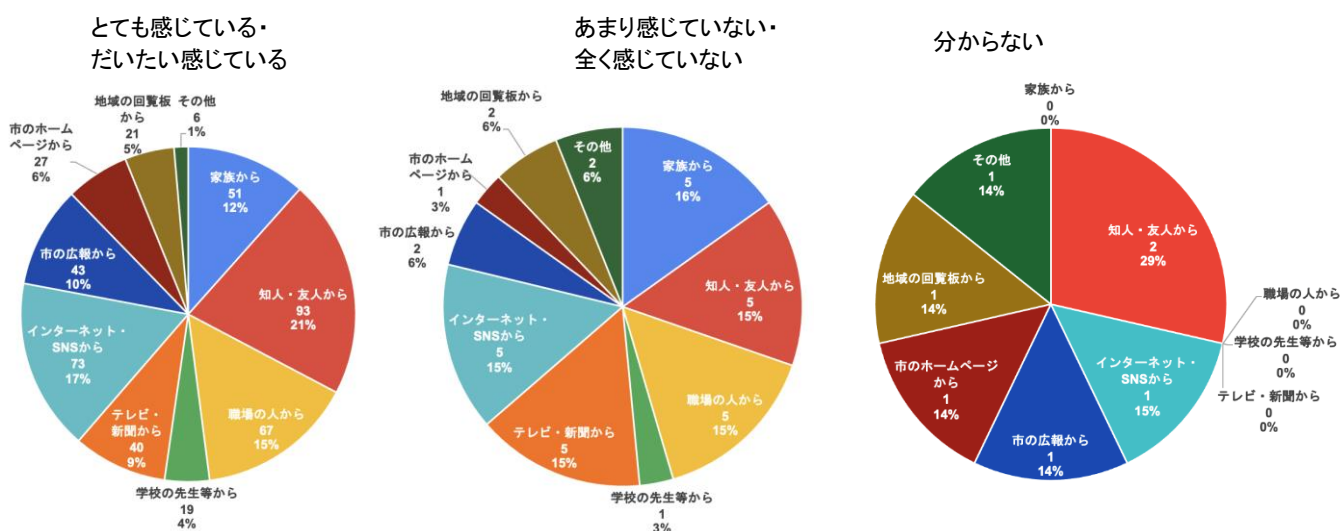
日本人は、「とても住みやすい」「まあまあ住みやすい」の割合が外国人の回答よりやや低く (p. 6 参照)、「正社員」に比べて「契約社員」「派遣・請負」「その他」で住みにくさを感じる人の割合が若干高くなっている。

(住みやすさ×在住歴・在留理由)



日本人は、伊賀市在住期間が長いほど「とても住みやすい」「まあまあ住みやすい」と感じる人の割合が高くなっている。外国人は、在住期間が6年以上の人よりも5年以下のほうが、満足度が若干高くなっているが、いずれも「とても住みやすい」と感じている人が9割以上と日本人を大きく上回っている。

(住みやすさ×情報入手先)



外国人において、生活情報の入手先の特徴としてはいずれも家族、友人、職場の人からが多かった。ただし、市広報やSNSなどにアクセスできているの方が、より住みやすさを感じているという結果であった。

【伊賀市の住みやすさに対する回答理由】

(日本人)

- 自然があって、名阪国道や鉄道で移動もできる。病院、商店・スーパーもある。大学進学は不便なのはマイナス点。あと、市民がまあ生き生きしている。
- 電車の利便性はいまいちだが、スーパーや病院も近くにあり、不便を感じない。
- 田舎であるが田舎の良さの中で、車又は電車を利用し、買い物や仕事にも大阪名古屋にも行きやすく、過ごしやすい。
- 案外就職先も見つかりやすいと思います。
- 住み慣れており、地域の方との交流が安定しているから
- 市民の意見に耳を傾けていない。
- 車がないとすごく不便だから。
- 災害がない
- 小さい町ですが、いろんな機能が濃縮されているため生活しやすい、食べ物、米、伊賀牛など美味しいものが多い。

(外国人)

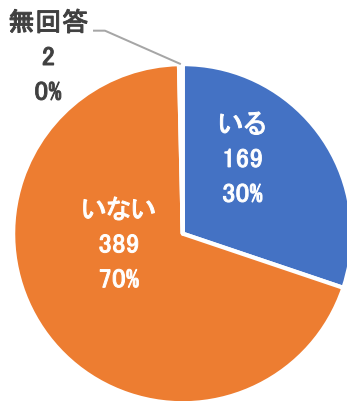
- 伊賀市は自然災害の少ない温暖な街です。どこもととも安全で、すべての市役所は細心の注意を払ってくれています。
- 津波、洪水、地滑りが発生しやすい地域から遠く離れています。
- この伊賀市はどこでもいても騒々しいことはありません。散歩したりできます。わざわざ観光地に行ったりすることはありません。
- 安全で雇用機会もあるので良い。
- 日本語や漢字で書かれた「通知」や「お知らせ」がよく来ますが、漢字が読めないのかわかりません。
- 市長や議員等を選ぶ権利が私にはありません。
- 生活費が高い。
- 子どもが遊ぶための場所がない。
- 平均よりも低い給料、そしてボーナスがない。
- 学校で子どもがいじめられているケースが多い。

②日常生活における会話機会

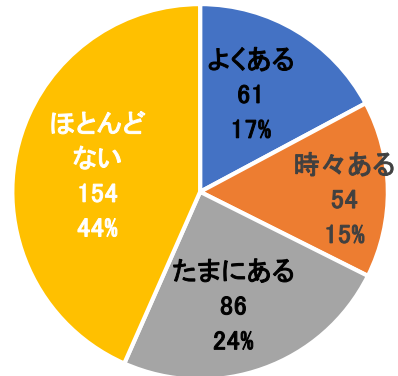
(会話の頻度)

(日本人)

問 17 伊賀市に住む外国人の友人や同僚



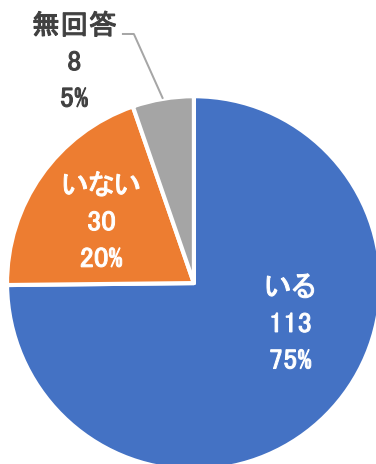
問 18 日常生活での外国人との会話機会



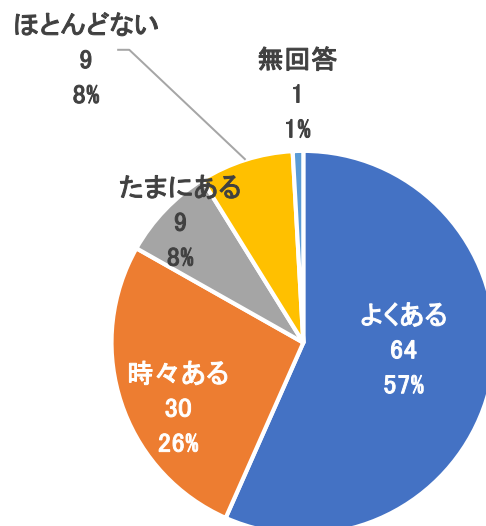
日本人で市内に住む外国人の友人・同僚がいると答えた人は3割だったが、外国人との会話の機会は友人や同僚の有無にかかわらず全体の6割の人があると答えている。外国人の友人や同僚がいると答えた人の中にも外国人との会話の機会がないと答えた人も1割程度いた。

(外国人)

問 26 伊賀市に住む日本人の友人や同僚



問 27 日常生活での日本人との会話機会

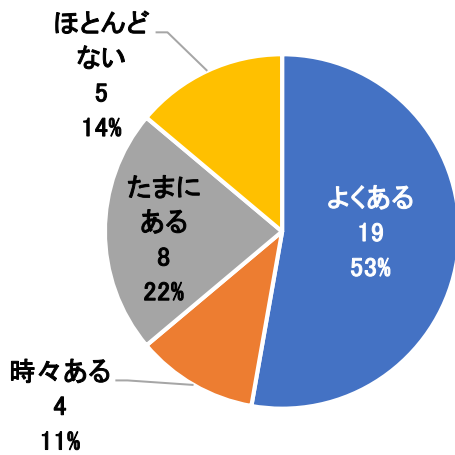


外国人で市内に住む日本人の友人・同僚が「いる」と答えた人は7割で、日常生活で日本人との会話機会が「ある」と答えた人は9割であった。

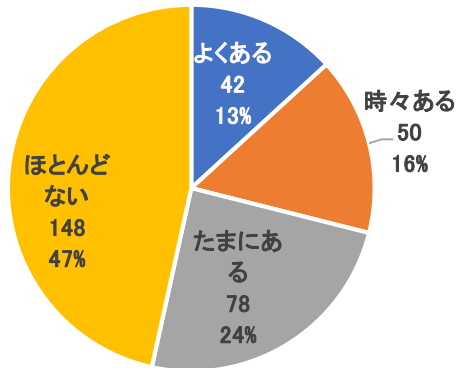
クロス集計結果

(会話の機会×海外滞在経験)

【海外在住経験あり】

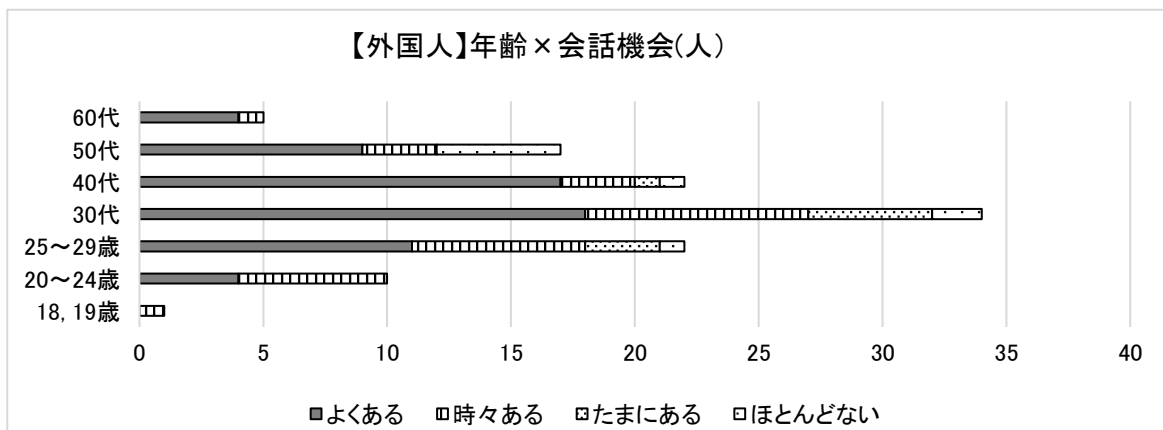
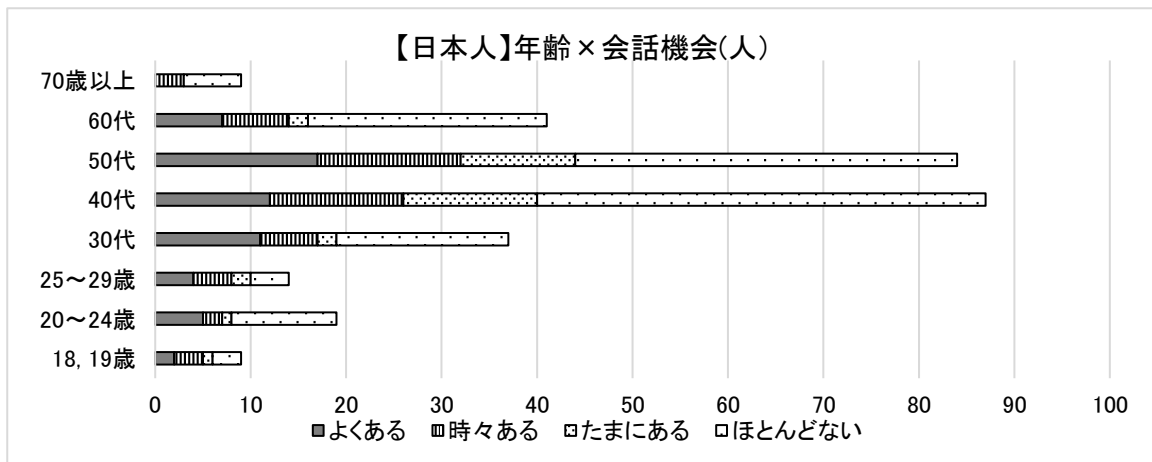


【海外在住経験なし】



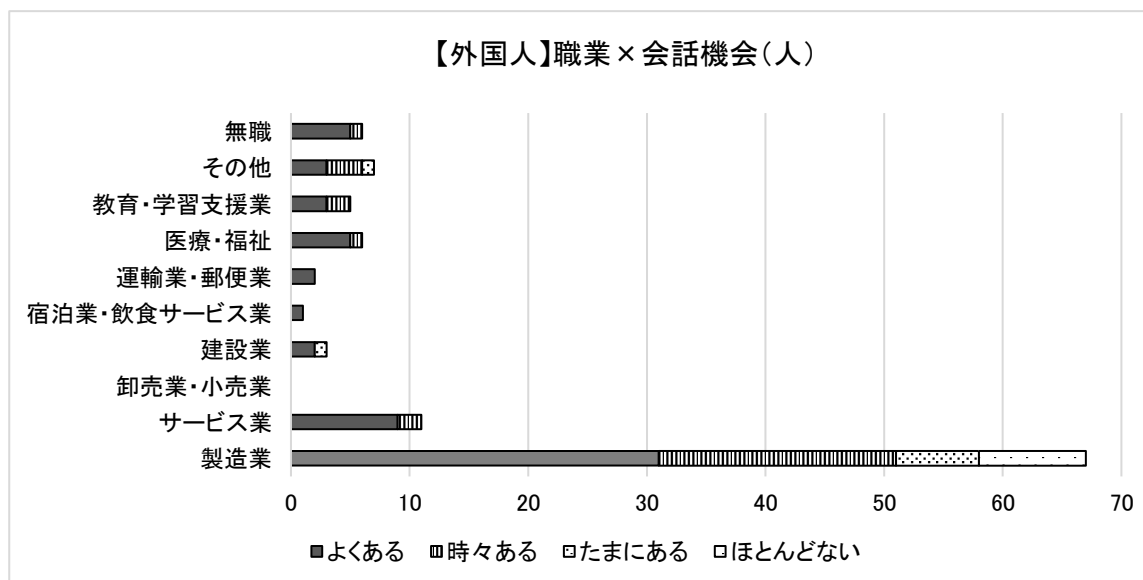
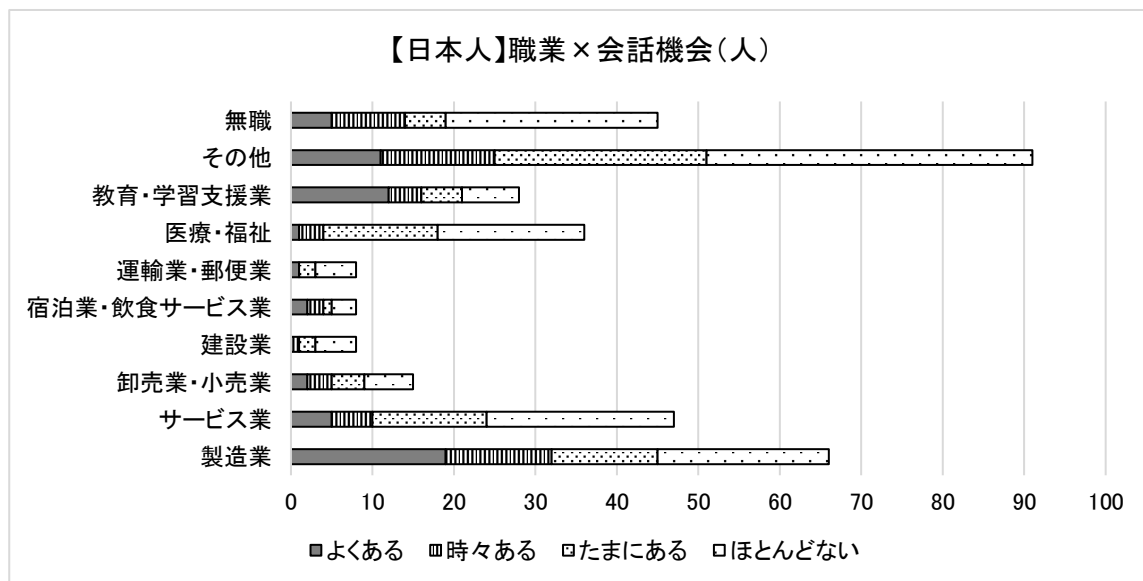
日本人の海外在住経験（90日以上）を見ると、経験のある人のほうが、経験のない人に比べて、日常生活で外国人との会話機会が「ある」、「よくある」と答えた割合が2倍以上となっている。

(会話の機会×年齢)



- (日本人) 30代以下で日常的な会話機会が「よくある」と答えた人が2～3割であるのに比べ、40代以上では1～2割とやや低くなっている。
- (外国人) 外国人では年齢が上がるにつれて日常的な会話機会が「よくある」と答えた人の割合が高くなっている。50代は40代・60代と比べて低くなっているが、それでも半数以上が「よくある」と答えている。

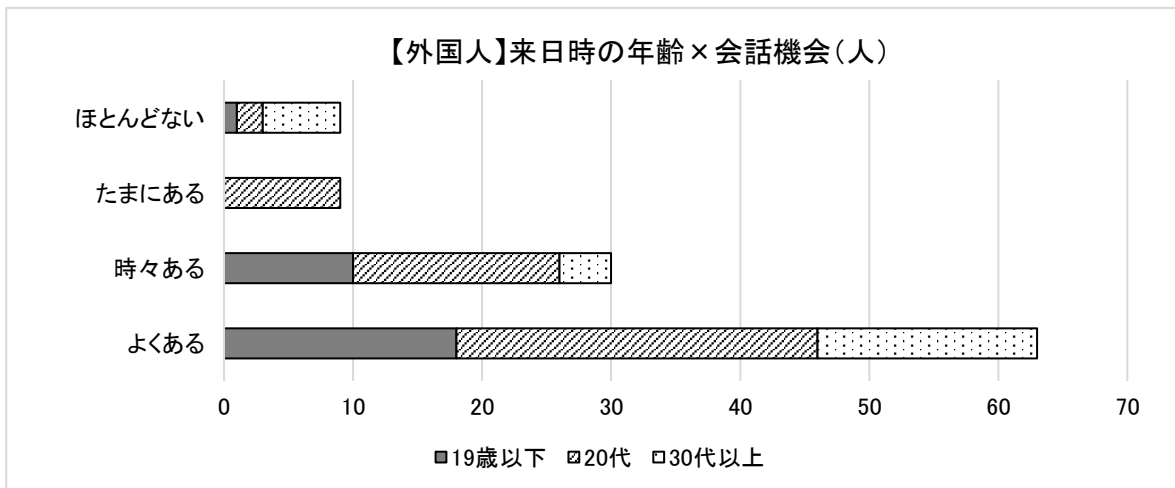
(職業×会話機会)



- (日本人) 職業別では、「教育・学習支援業」で会話機会が「よくある」と答えた人が4割と最も高く、それ以外では1～2割、「医療・福祉」と「建設業」では日常的な会話はあまりない。
- (外国人) 「医療・福祉」と「サービス業」で8割以上が「よくある」と答えており、「時々ある」を含めるとどの職業でも7割以上の人々が日常的に日本人と会話をしている。

【外国人】

(来日時の年齢×会話機会)

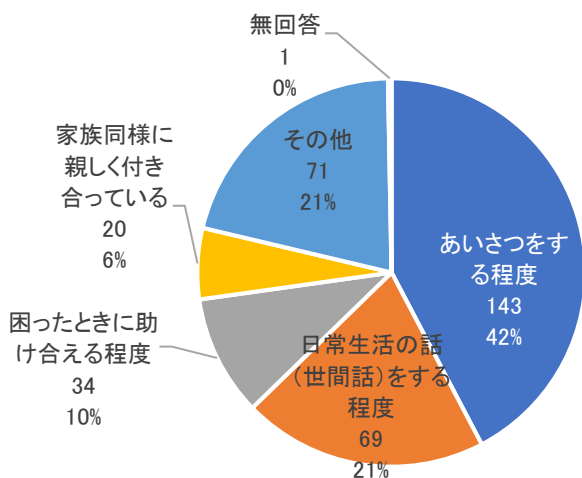


来日時の年齢が低いほど、日本人と日常的な会話機会が「ある」と答える人の割合が高くなっており、「ほとんどない」と答えた人の割合は、年齢が高くなるほど高くなっている。

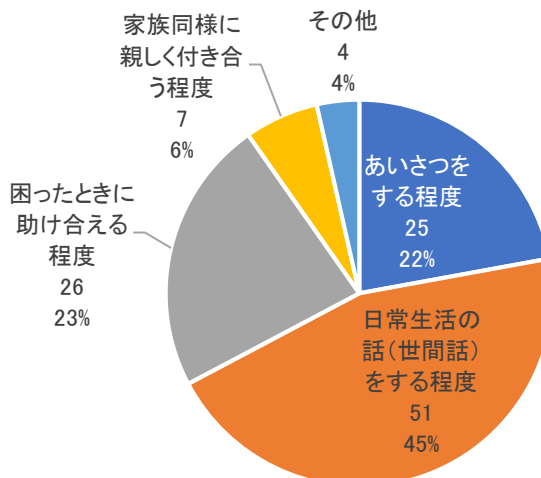
③日常生活における交流

日常生活での交流

(日本人)問 19 あなたは、日常生活で外国人とどのような交流をしていますか。



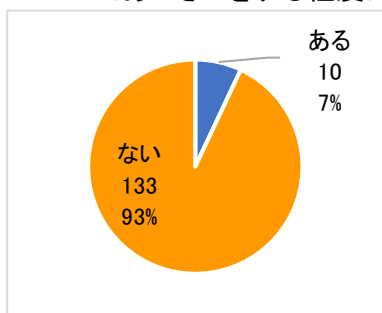
(外国人)問 28 あなたは、日常生活で日本人とどのような交流をしていますか。



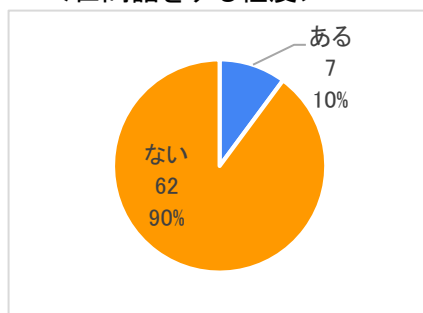
クロス集計結果

(日本人)問19日常生活における外国人との交流×問11海外在住経験(90日以上)

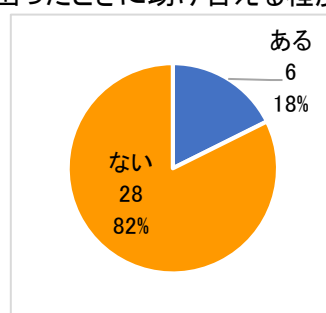
<あいさつをする程度>



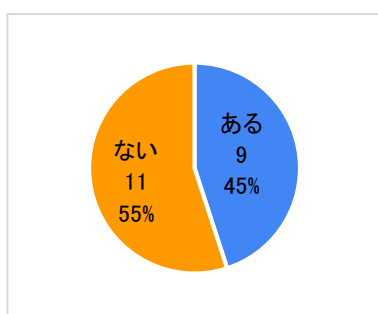
<世間話をする程度>



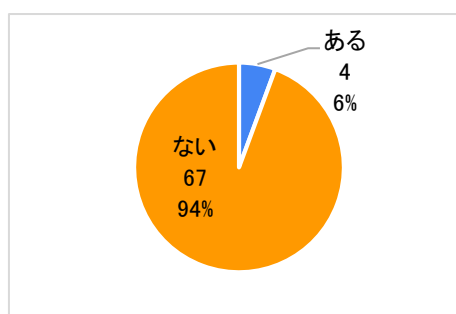
<困ったときに助け合える程度>



<家族同様に親しく付き合っている>



<その他>



- (日本人) 海外在住経験 (90 日以上) を見ると、経験のある人のほうが、経験のない人に比べて、「家族同様に親しく付き合っている」と答えた人の割合が2倍以上となっており、経験のない人では4割が「あいさつをする程度」ととどまっている。
- (外国人) 日本滞在年数 10 年以上の場合、4割が「家族同様に親しく付き合っている」または

「困ったときに助け合える程度」と答えている一方、10年未満の人では5割が「あいさつをする程度」または「世間話をする程度」にとどまっている。

(日本人)問2年齢×問18 日常生活で外国人とどのような交流をしていますか。

	あいさつをする程度	日常生活の話(世間話)をする程度	困ったときに助け合える程度	家族同様に親しく付き合う程度	その他
20歳未満	6	5	0	1	0
20代	15	8	4	4	5
30代	20	7	8	2	9
40代	43	23	10	3	17
50代	40	19	5	8	22
60代	14	7	6	1	13
70歳以上	5	0	1	1	5

(外国人)問2年齢×問28 日常生活で日本人とどのような交流をしていますか。

	あいさつをする程度	日常生活の話(世間話)をする程度	困ったときに助け合える程度	家族同様に親しく付き合う程度	その他
20歳未満	0	0	1	0	0
20代	8	15	8	0	1
30代	10	10	9	4	1
40代	1	16	5	1	0
50代	6	7	1	1	2
60代	0	2	2	1	0
70歳以上	0	0	0	0	0

- (日本人) 年齢別では、ほとんどの年代で「あいさつをする程度」が3～4割を占めており、20代と30代、60代で「困ったときに助け合える程度」が1割超となっている。
- (外国人) ほとんどの年代で「世間話をする程度」が最も多くなっており、20代から40代、60代で「困ったときに助け合える程度」が2～4割を占めている。

(日本人)問21 伊賀市に住む外国人に対して、何かご意見やご要望などありましたら教えてください。

(抜粋)

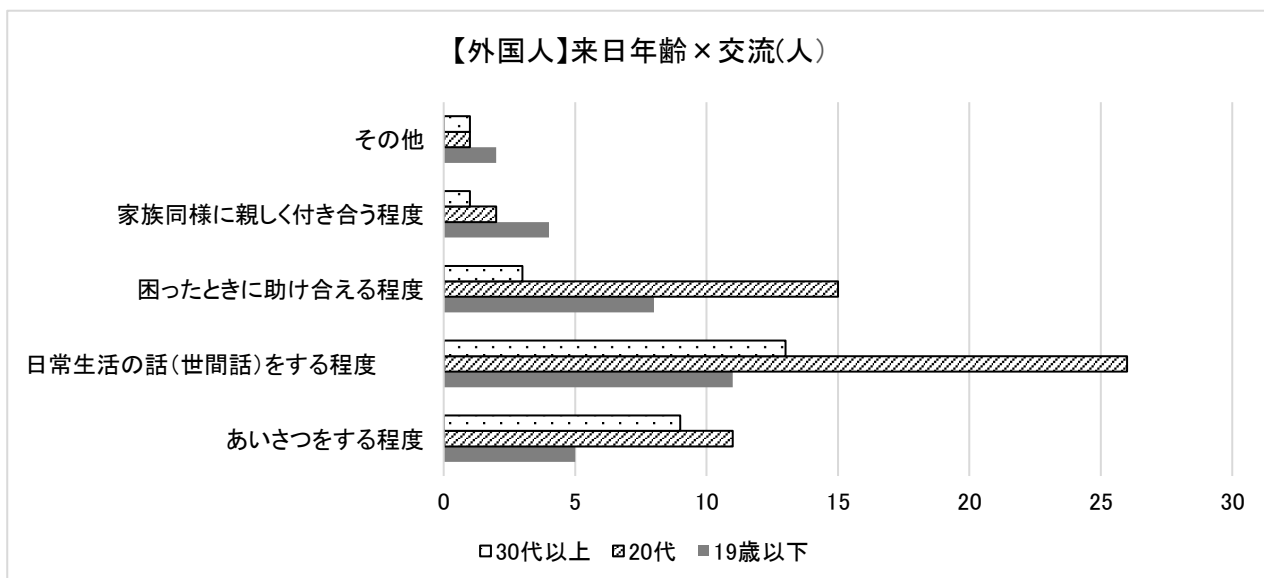
- ゴミを分別してほしい。(車や自転車などの) 交通ルール・マナーを守ってほしい。
- 日本語をもっと学べる場を作ってあげて欲しい。
- 元々の住民にも外国人にも住みやすい地域になればよい。地域の暗黙のルールも可視化すれば理解されやすいのでは。
- とにかく仲良くしたい、自治会の行事にも協力して下さり助かっています。
- 近所にはいないが、子供の学校にも増えてきて、仲良く過ごしている姿を嬉しく思う。たぶん、壁があるのは大人なので、私達に変化をしていき、きちんと知っていく必要を改めて感じます。

(外国人)問 30 伊賀市に住む日本人に対して、何かご意見やご要望などありましたら教えてください。

(抜粋)

- 親切だ、礼儀正しい。
- すぐに日本語を理解するのが苦手なので、丁寧な説明をしてほしいです。
- 外国人だからみんながみんな同じだと思わないでほしい。
- 私たちは努力をするためにここに来ている。仕事ため家族から離れて生活するのはつらい。常にオープンで外国人に親切にしてください。それは、またあなたの国を豊かにします。
- もっと外国人の事を知って欲しい。
- 外国人が言葉や文化の問題を解決するために、皆さんがたくさんのボランティアプログラム、国際交流や外国人への日本語教室を開催してくれることを願っています。言葉や文化の問題無くなれば、人々はもっと仲良くできると思います。

(来日年齢×交流)

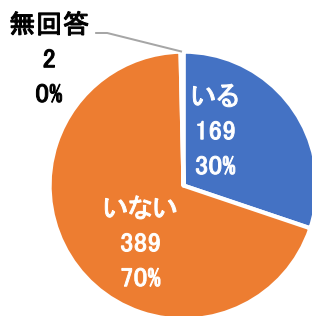


- (外国人) 来日時の年齢と日本人との交流では、どの年代も「世間話をする程度」が4割前後となっているが、来日時が10代、20代は30代以上より「助け合える程度」「家族同様の付き合い」の割合が2倍～3倍となっている。
- 日本人も外国人も、海外・日本での滞在期間が長い人ほど、積極的な交流がある。

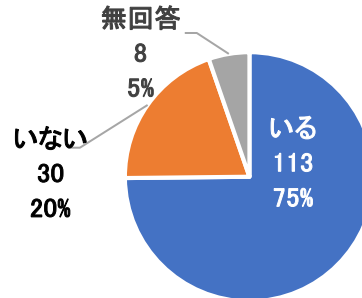
④友人・同僚の有無

同僚・友人の有無

(日本人) 外国人の同僚・友人



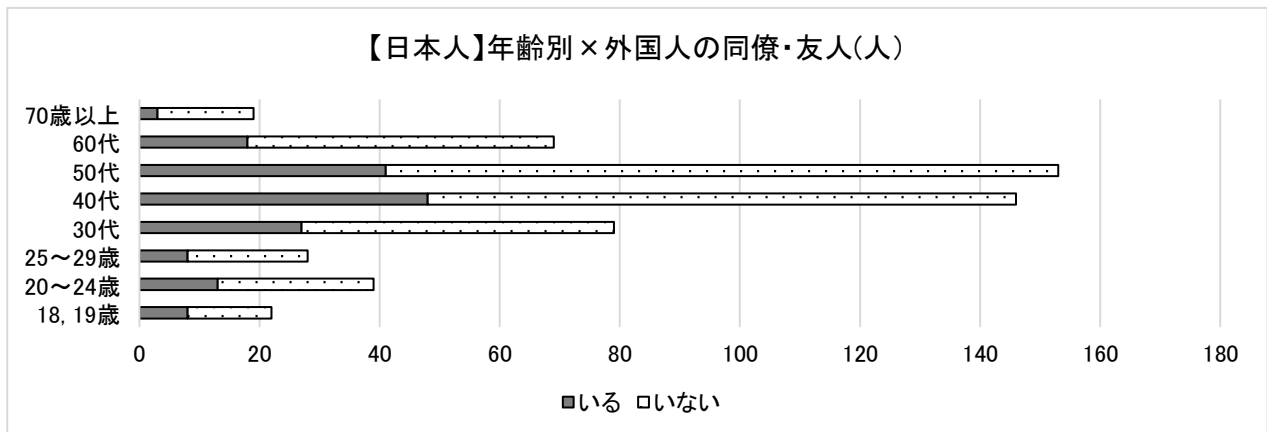
(外国人) 日本人の同僚・友人



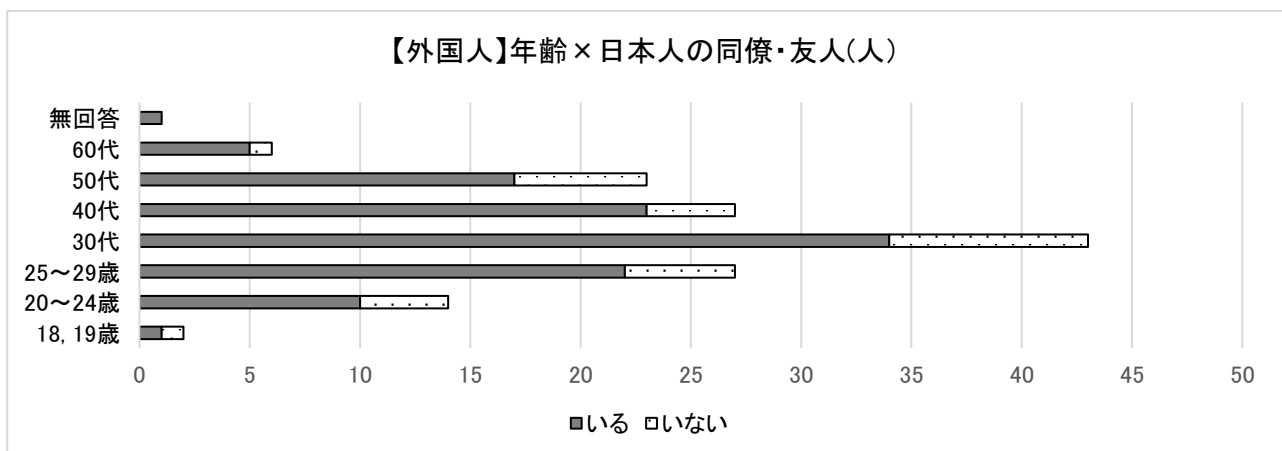
日本人は、市内に住む外国人の友人や同僚が「いる」と答えたのは3割であったのに対し、外国人では7割であった。

クロス集計結果

(年齢別×友人・同僚の有無)



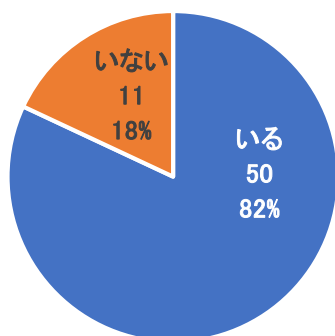
「70歳以上」で1割、70歳未満では2～3割が「外国人の友人・同僚がいる」と答えており、年代によってそれほど大きな差は見られなかった。



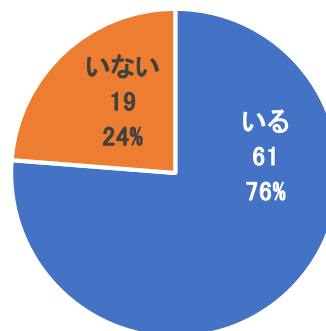
20代後半～40代と60代で「日本人の友人・同僚がいる」が8割を占めており、20代前半と50代でも7割超と全体的に高く、世代間で大きな差は見られなかった。

(居住年数×友人・同僚)

【外国人】居住10年以上×日本人の
友人・同僚の有無



【外国人】居住10年未満×日本人の
同僚・友人の有無



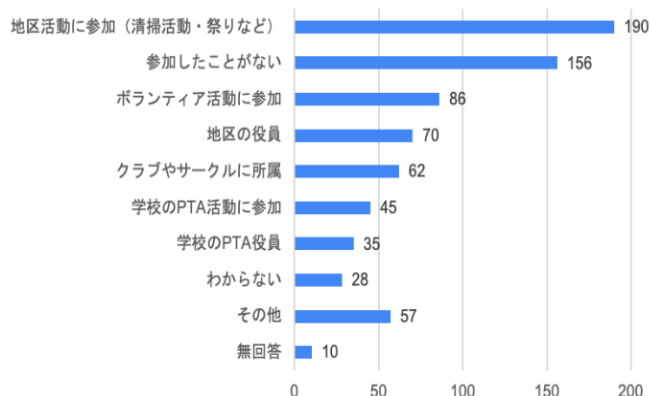
「日本人の友人・同僚がいる」と答えたのは、日本滞在期間が10年以上で8割、10年未満で7割と在日期間の長さによる大きな差はなかった。職業や雇用形態、日本滞在年数、来日時の年齢等に関わらず、日本人の友人や同僚をもつ傾向にある。

⑤地域活動等への参加

地域活動への参加状況

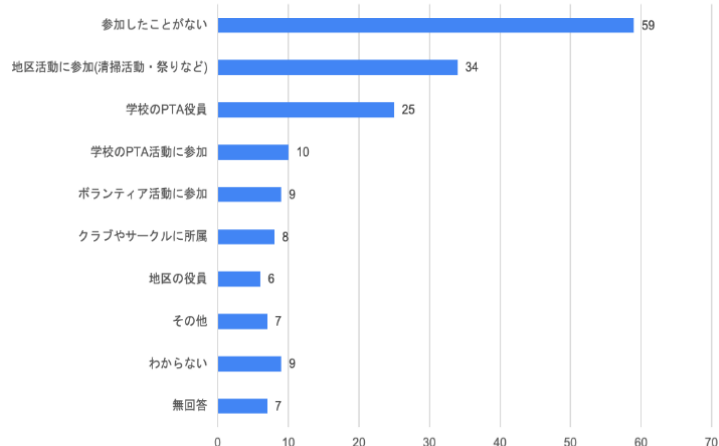
(日本人)

問 24 今、地域活動に参加していますか。



(外国人)

問 33 今、地域活動に参加していますか。



日本人・外国人共に、現在参加している地域の活動では、「地区活動（清掃活動・祭りなど）」が最も多かった。また、全回答の中で「参加したことがない」は外国人で1番目、日本人で2番目に多かった。

クロス集計結果

(地域活動×年齢別)

【日本人】

	地区の役員	地区活動に参加	学校のPTA役員	学校のPTA活動に参加	ボランティア活動に参加	クラブやサークルに所属	その他	わからない	参加したことがない
18, 19 歳	0	4	0	0	4	3	0	5	7
20～24 歳	0	2	0	0	3	8	1	2	25
25～29 歳	0	3	2	0	2	3	4	1	14
30 代	6	19	8	9	7	2	8	7	30
40 代	20	51	17	31	18	17	15	4	42
50 代	23	65	6	4	30	18	21	5	28
60 代	17	33	2	1	18	8	7	4	7
70 歳以上	4	13	0	0	4	3	1	0	3

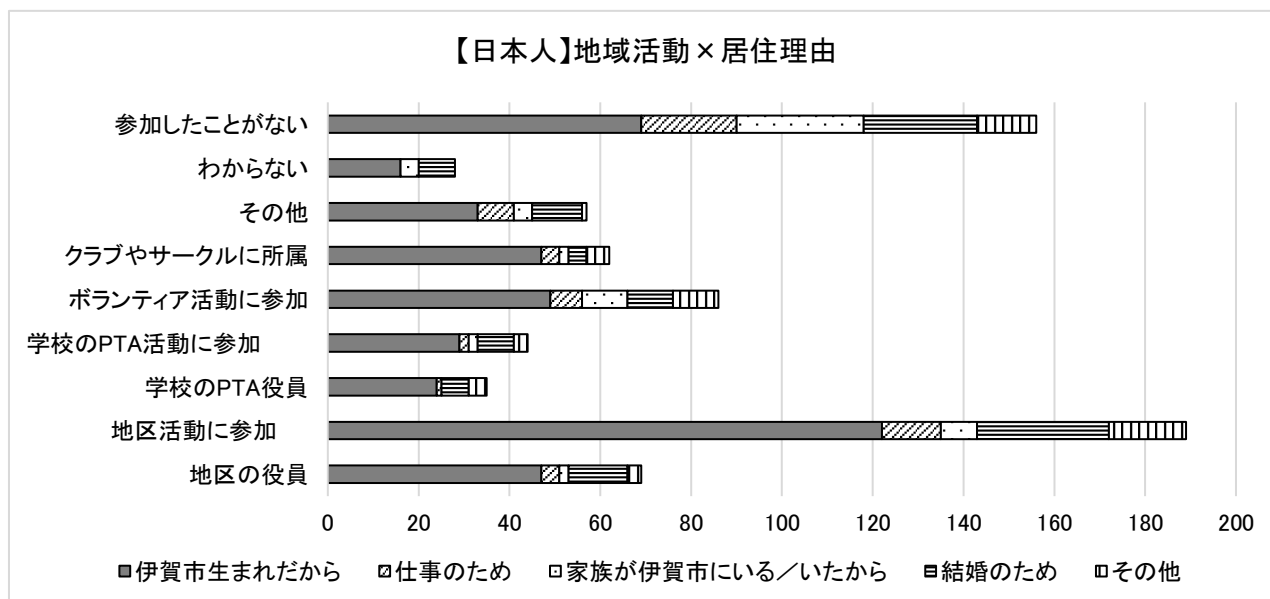
日本人全体では、7割以上が何らかの活動に参加しているが、年齢別では、20代前半で「参加したことがない」が6割と高く、30代以下はいずれも3割以上となっている。一方で、50代以上で1割以上が「地区の役員」を務め、「地区活動に参加」している人も3割以上となっている。また、「学校のPTA役員」及び「学校のPTA活動に参加」を選択した人のほとんどは30～40代である。「ボランティア活動に参加」は、10代と50代以上で1割となっている。

【外国人】

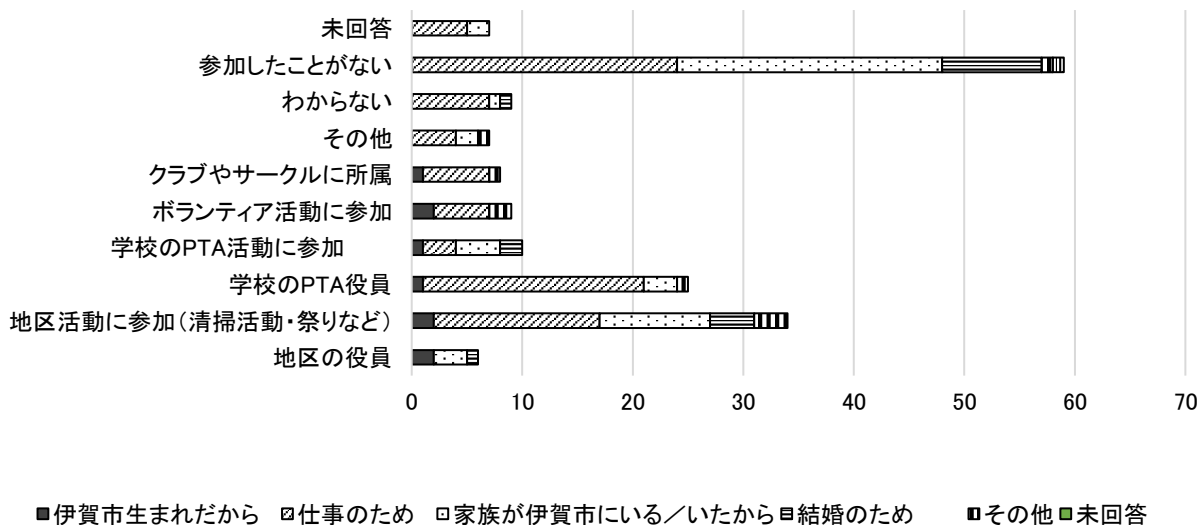
	地区の役員	地区活動に参加	学校のPTA役員	学校のPTA活動に参加	ボランティア活動に参加	クラブやサークルに所属	その他	わからない	参加したことがない
18, 19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20～24 歳	1	0	6	0	1	0	0	2	4
25～29 歳	0	4	12	1	1	3	1	2	5
30 代	3	10	6	2	1	3	0	4	20
40 代	1	9	0	3	3	1	1	1	13
50 代	1	8	1	3	3	1	4	0	10
60 代	0	3	0	1	0	0	1	0	4

外国人全体では何らかの活動に 6 割が参加しているが、30～60 代で「参加したことがない」が 3～4 割を占めている。「地区の役員」を務めている人はどの年代でも 1 割に満たないが、30 代以上では「地区活動に参加」している人が 2～3 割となっている。「学校の PTA 役員」を務めている人は 20 代が 4 割と高く、40～50 代も 1 割が「学校の PTA 活動に参加」している。一方、「ボランティア活動に参加」している人は最も多い 50 代でも 1 割である。

(地域活動×居住理由)



【外国人】地域活動×居住理由



伊賀市在住理由別で「伊賀市生まれだから」が「地区の役員」及び「地区活動に参加」と回答した割合が4割と最も高く、「参加したことがない」は「家族が伊賀市に住んでいる／いた」が5割近くあった。「家族が伊賀市に住んでいる／いた」では、「ボランティア活動に参加」が2割近くとすべての在住理由の中で最も高かった。「学校のPTA役員」及び「学校のPTA活動に参加」と答えた人は、在住理由に関わらず1割程度であった。

(地域活動×日本語力)

【外国人】

	地区の役員	地区活動に参加	学校のPTA役員	学校のPTA活動に参加	ボランティア活動に参加	クラブやサークルに所属	その他	わからない	参加したことがない
0～9点	0	6	7	2	0	0	4	2	20
10～14点	1	17	11	4	5	4	1	4	22
15～20点	4	10	7	4	4	4	2	3	13

(外国人)日本語力が高いほど「参加したことがない」の割合が低くなる一方で、日本語力の高さに関わらず4～5割が「地区の役員」「地区活動に参加」「学校のPTA役員」「学校のPTA活動に参加」と回答している。

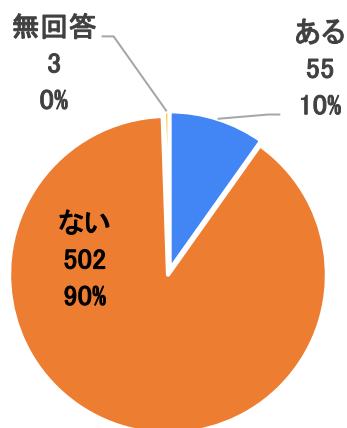
※外国人の日本語力については、各設問において選択した回答を1～5点の5段階に点数化し(20点満点)、「0～9点」「10～14点」「15～20点」の3区分に分けて分析した。

⑥語学力

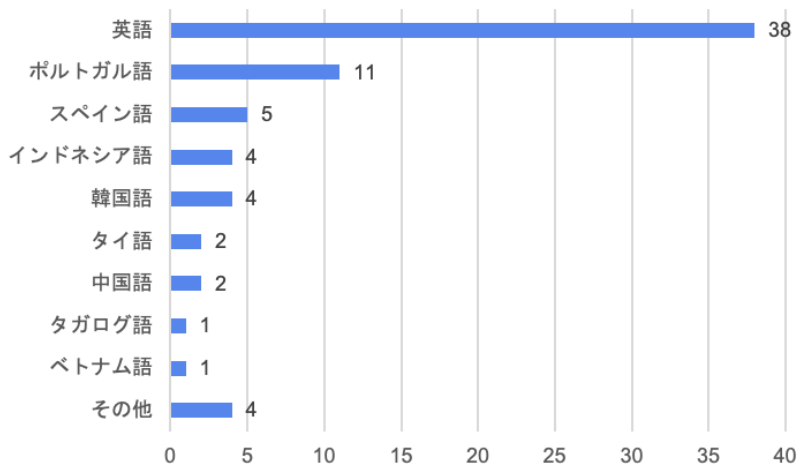
外国語の習得状況

(日本人)

問 14 日本語以外に得意な言語の有無

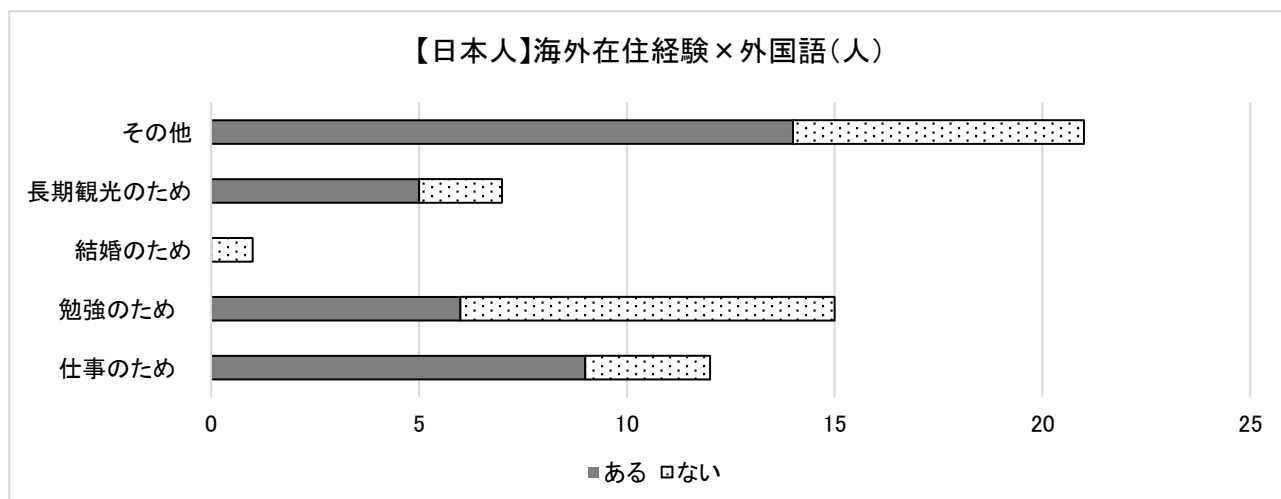


問 15 問 14 で回答した言語



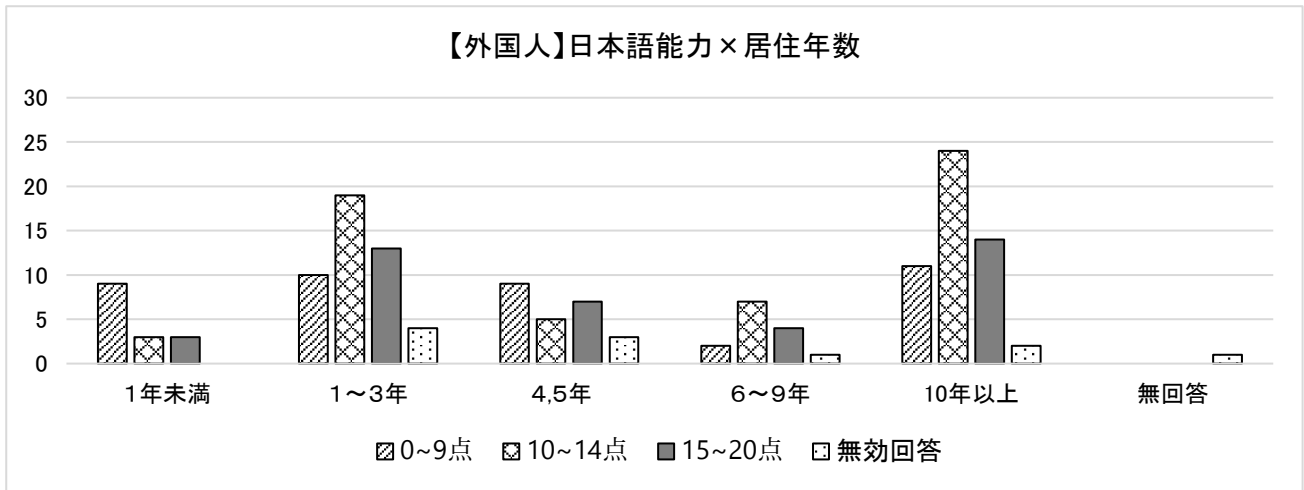
日本人で日本語以外に得意な言語（日常会話レベル以上）があると答えた人は1割で、言語別で最も多いのが「英語」であった。

(日本国語習得×居住期間、目的)



(日本人) 海外在住目的別では「仕事のため」「長期観光のため」「その他」で「日常会話レベル以上の外国語」が「ある」と答えた人が7割程度となっている。

また、海外在住期間別では「日常会話レベル以上の外国語」が「ある」と答えた人は「半年以上」で5割以上、「半年未満」で3割以下となっており、基本的に期間が長いほど「ある」の割合が高くなる傾向にある。



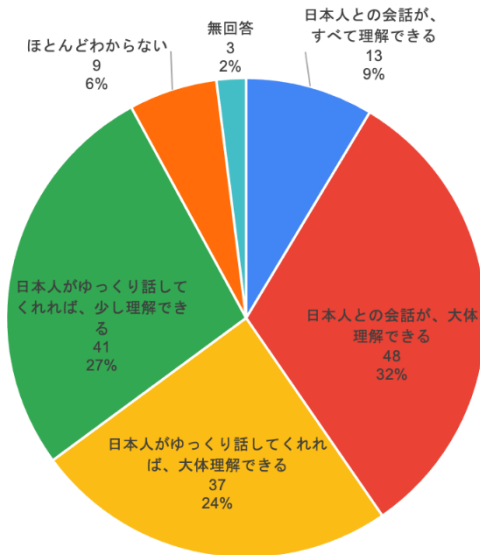
(外国人) 日本語能力と居住年数に関係性は見られず、長年住んでいても日本語があまりできない層が一定数いる。

⑦日本語学習

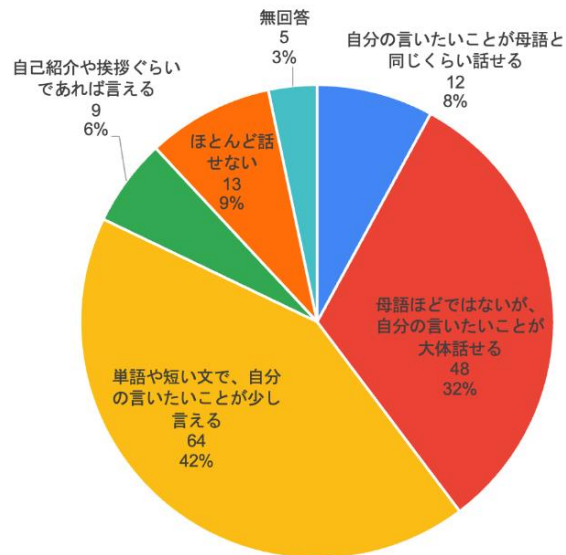
聞く・話す・読む・書く

(外国人)

問 18-1-1 日本語力(聞く)



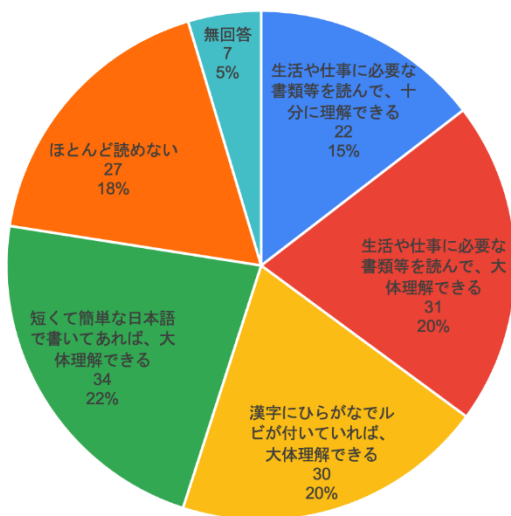
問 18-2 日本語力(話す)



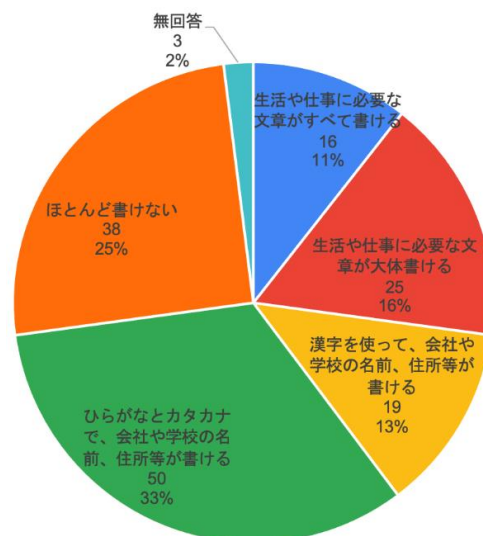
外国人のうち4割が日本語での会話(聞く・話す)が大体できると回答した。日本語が大体読めると回答したのは3割強あったが、大体書けると回答したのは3割未満であった。

(外国人)

問 18-3-1 日本語力(読む)

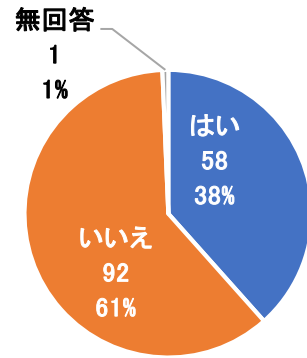


問 18-4 日本語力(書く)

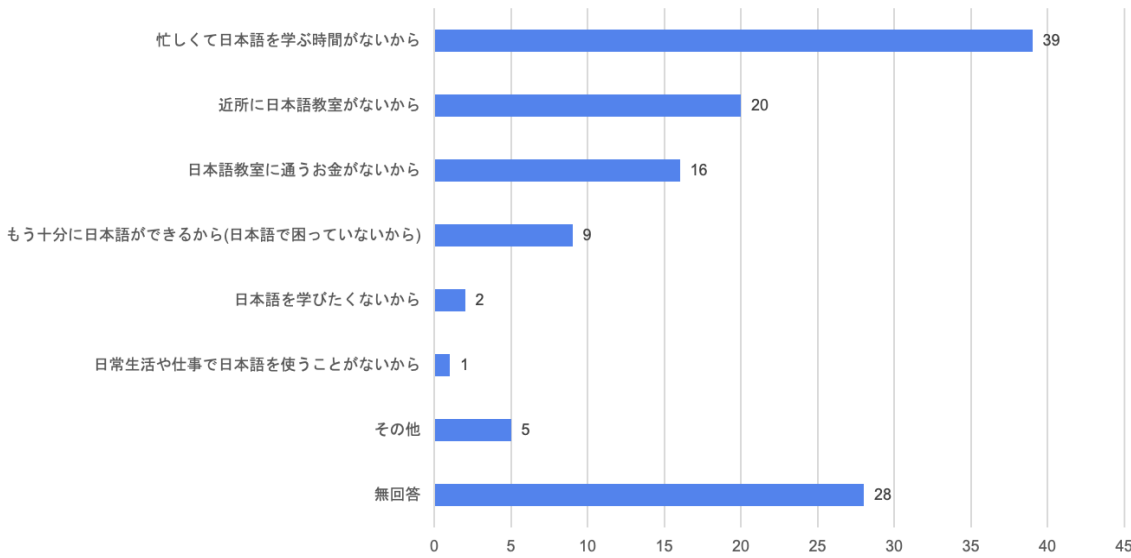


(外国人) 問 19 今、日本語を勉強していますか。

現在、日本語を勉強していると答えたのは4割だった。

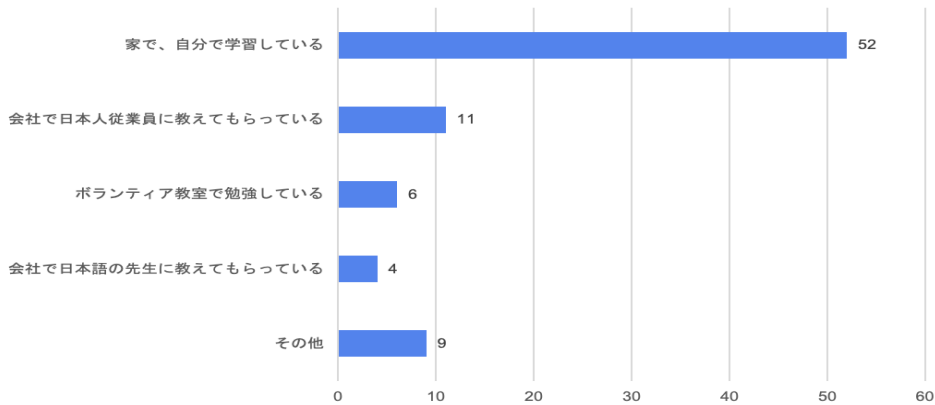


(外国人) 問 20 今、日本語を勉強していない理由を教えてください。



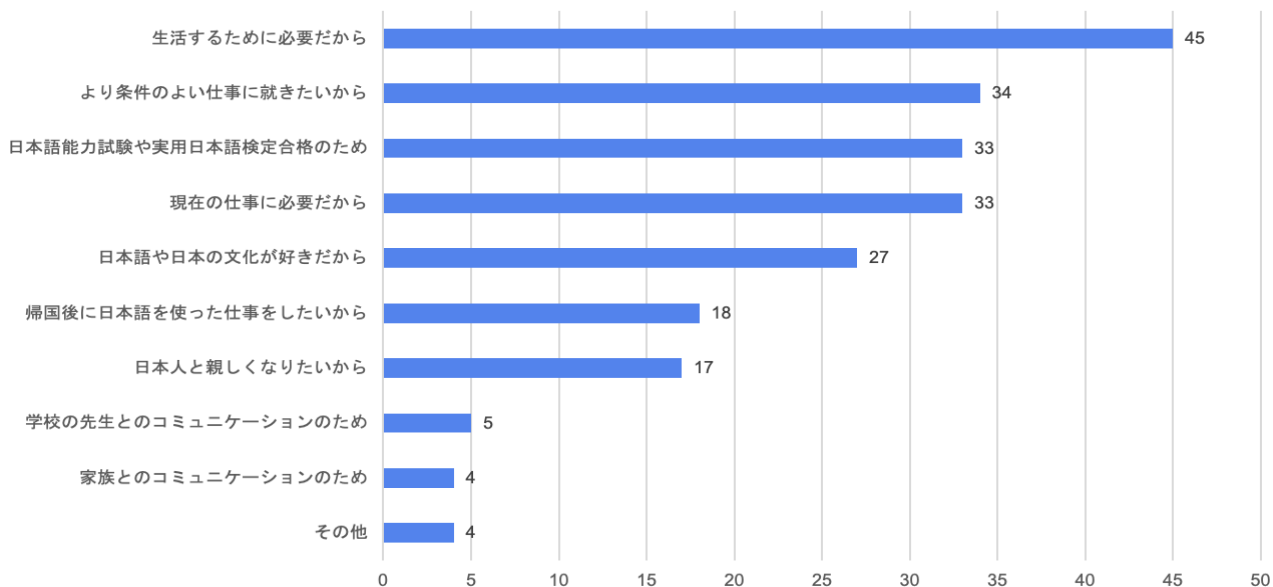
現在、日本語を勉強していない理由として「忙しくて日本語を学ぶ時間がないから」が最も多かった。

(外国人) 問 21 どうやって日本語を勉強していますか。



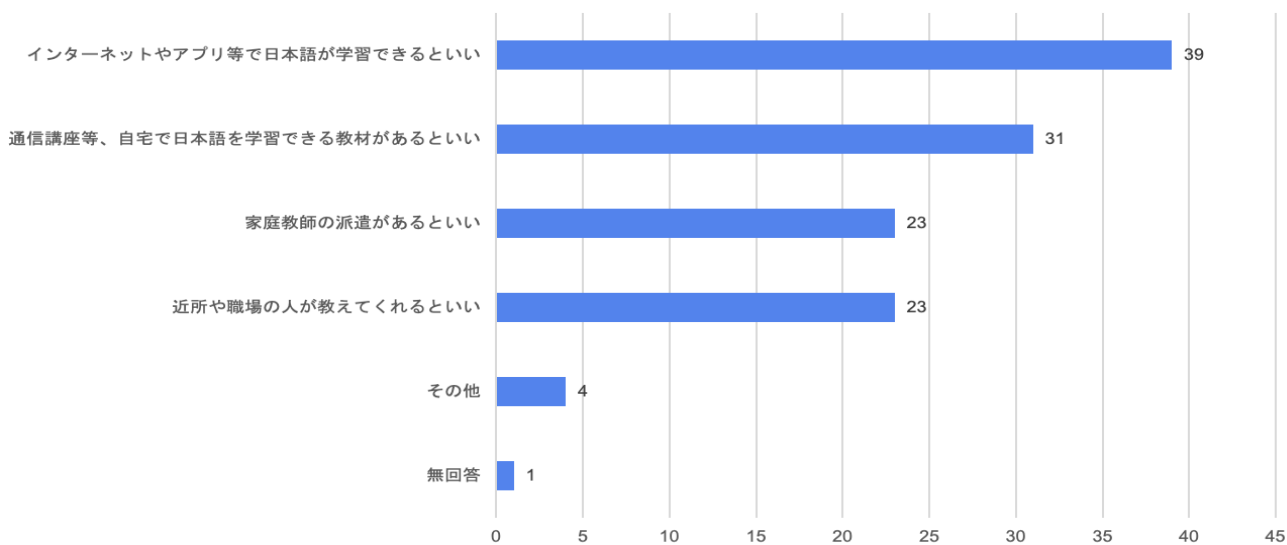
日本語の勉強方法については、「家で、自分で学習している」が最も多かった。

(外国人) 問 22 日本語を勉強する目的は何ですか。



日本語の学習目的では、「生活するために必要だから」と回答した人が最も多かった。

(外国人) 問 23 今後、どのような日本語学習機会があればいいと思いますか。



今後は、「インターネットやアプリ等」による学習機会を希望する声最も多かった。

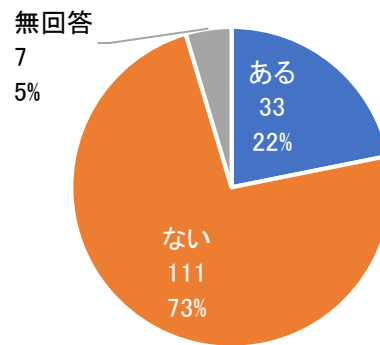
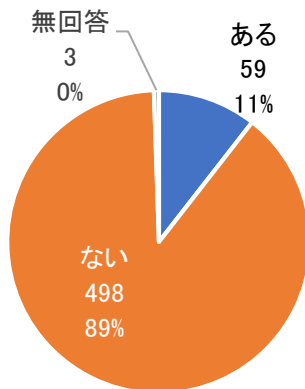
⑧人権と外国人の将来不安

(日本人)

(外国人)

問 22 伊賀市でこれまでに差別を受けた経験

問 31 伊賀市で3年以内に差別を受けた経験

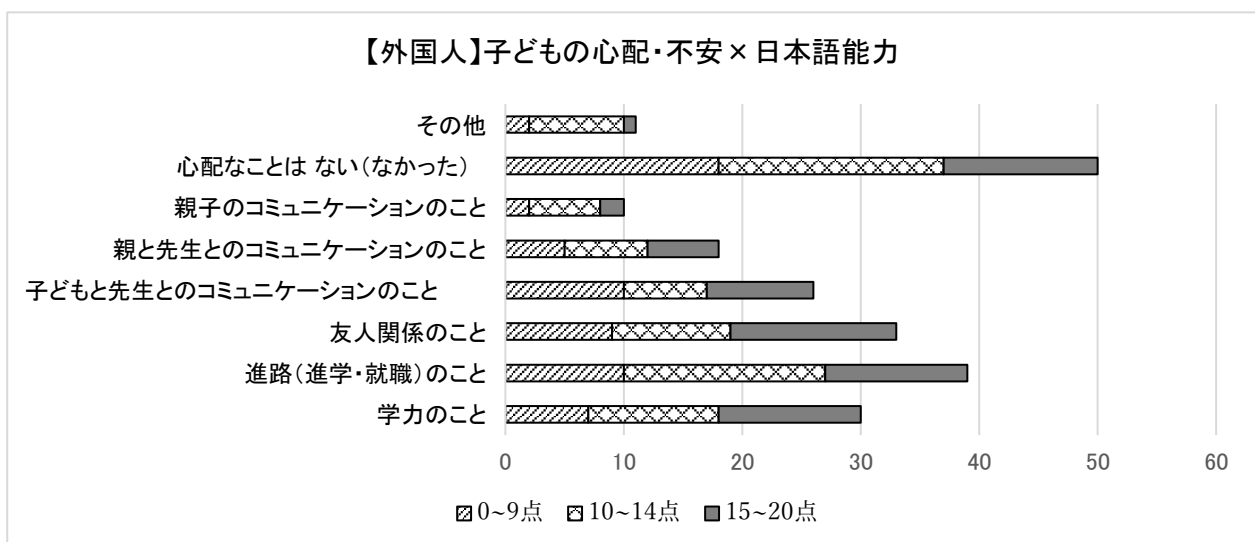


伊賀市で差別を受けた経験が「ある」と回答したのは、日本人で1割、外国人で2割であった。

- (日本人) 性別と居住地・出身地を理由にしたものが多かった。外国人から差別を受けたという意見は見られなかった。
- (外国人) 職場での待遇に関するものが多く、差別された相手も職場の人からという意見が多かった。

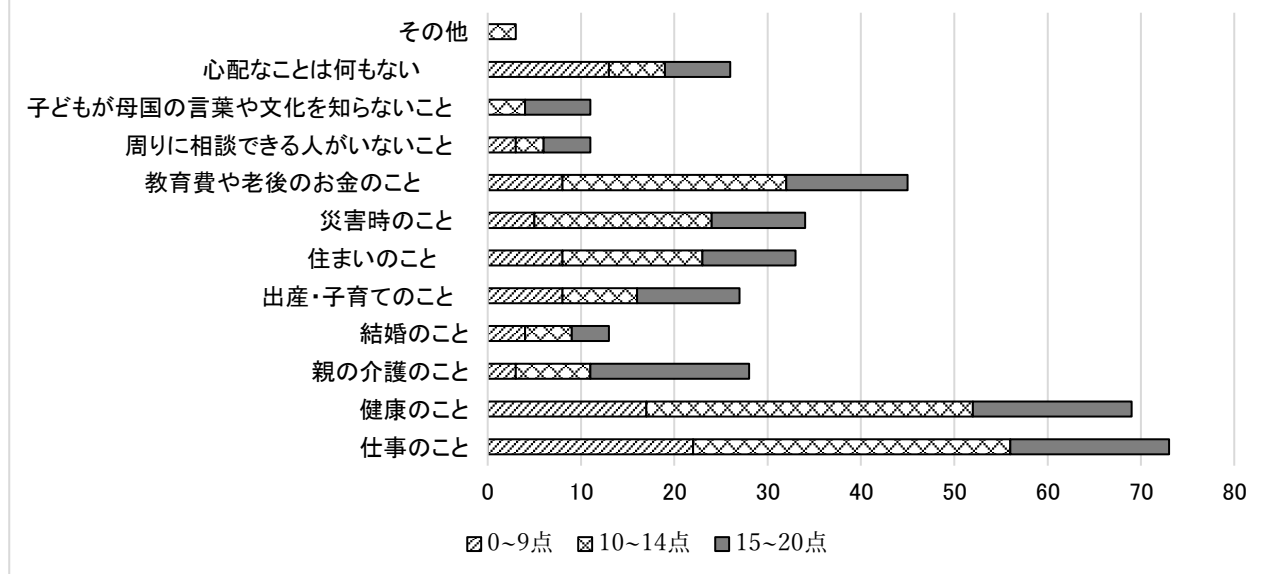
クロス集計結果

(心配・不安×日本語の能力)



子どもの心配事について、日本語力が高くなるにつれ、「心配なことはない／なかった」の割合が低くなっており、反対に「学力のこと」を心配する割合が高くなっている。

【外国人】将来の心配・不安×日本語能力



将来の事については、日本語力が高くなるにつれ、「仕事のこと」の割合が低くなっており、反対に「親の介護のこと」と「子どもが母国の言葉や文化を知らないこと」を心配する割合が高くなっている。

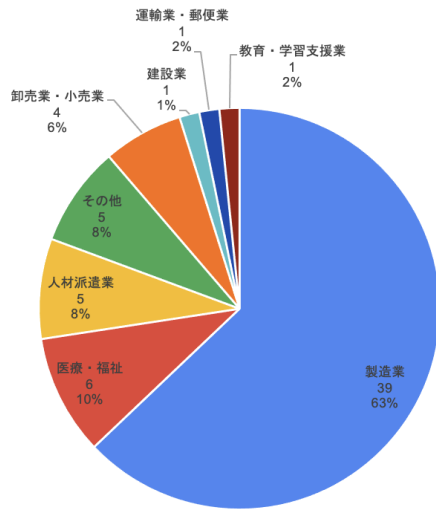
(外国人)問 25 仕事や子育てなど、あなたが今、生活上で困っていることや心配していることがあれば教えてください。

- 一番心配していることは言葉です。私は日本語が理解できません。子どもたちの学校の先生の言っていることが理解できるようになりたいです。
- 仕事の勤務日数が少ないので、収入が少ないです。なのに生活費が高いです。
- 地震などの自然災害が心配です。
- 子どものための保育園の空きがないです。
- 私の日本語はまだあまり上手ではないので、言いたいことが伝わりません。
- 地域のいくつかの活動に参加したいが、自信がなく、登録方法がわからない。
- 日本語が上手く伝わらないので、病院や学校などの公共の場に行かなければならないとき、仕事や手続きが大変です。
- 現在、私はみんなと一緒に家に住んでいます。私はまだ日本語を勉強しています。共通の部屋のため、みんなが話していて勉強に集中できません。遅い時間に勉強しようとしても、電気を明るくしないといけないので、みんなに迷惑がかかります。また、会社が従業員のための法律やルールを守らないことです。

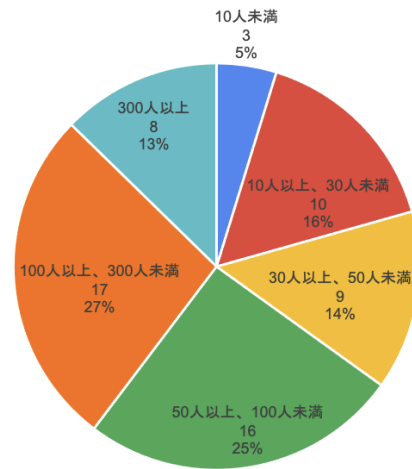
2) 事業所・団体

①外国人雇用

問1 事業所・団体の業種

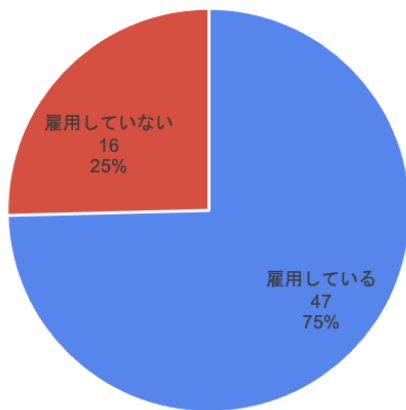


問2 事業所・団体の従業員数

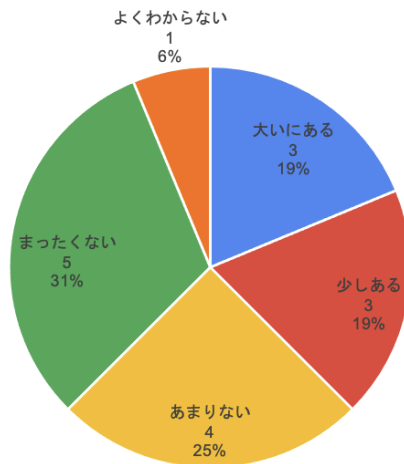


製造業が6割と最も多かった。従業員数は50～99人と100～299人が多く、それぞれ4分の1を占めていた。

問3 現在の外国人の雇用

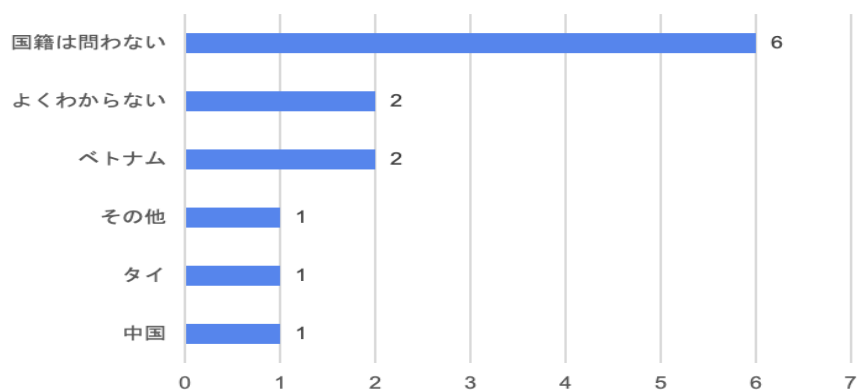


問4 今後の外国人雇用の可能性



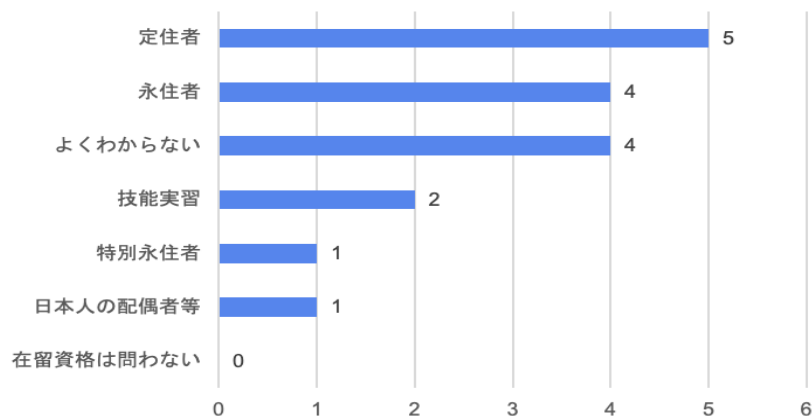
7割以上の事業所等で外国人を雇用していた。今後の外国人雇用の可能性については、6割が今後も外国人雇用の可能性がみられた。

問5 今後、雇用してみたいと思う外国人の国籍



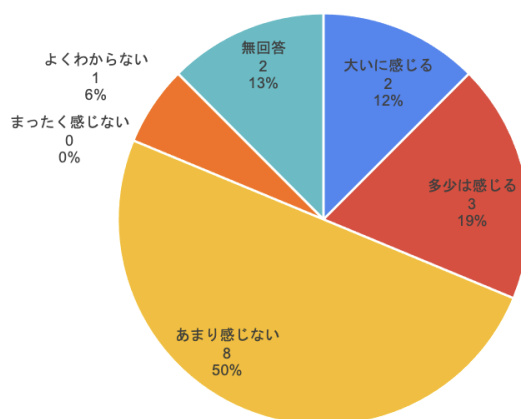
雇用してみたいと思う外国人の「国籍は問わない」と答えた事業所等が最も多かった。

問6 今後、雇用してみたいと思う外国人の在留資格



多くの事業所等が「定住者」と「永住者」と答えた。「よくわからない」も多かった。

問7 外国人雇用に関する相談窓口の必要性



半数が「あまり感じない」と答えたが、3割が一定の必要性を感じていた。

クロス集計結果

(雇用年数×在留資格)

【雇用年数 10 年未満】事業所・団体数

従業員数	〔永住者〕	〔定住者〕	〔技能実習〕	〔国際業務〕	〔技術・人文知識・等〕	〔日本人の配偶者等〕	〔特別永住者〕	〔家族滞在〕	〔特定技能〕	〔その他〕	〔よくわからない〕
1～5 人	11	4	5	3	3	0	2	2	1	0	
6～9 人	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
10～19 人	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
20～29 人	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	13	5	11	3	3	0	2	2	1	0	

【雇用年数 10 年以上】事業所・団体数

従業員数	〔永住者〕	〔定住者〕	〔技能実習〕	〔国際業務〕	〔技術・人文知識・等〕	〔日本人の配偶者等〕	〔特別永住者〕	〔家族滞在〕	〔特定技能〕	〔その他〕	〔よくわからない〕
1～5 人	6	3	2	4	5	2	3	1	0	1	
6～9 人	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
10～19 人	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	
20～29 人	0	0	4	0	1	0	0	1	0	0	
30～39 人	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
40～49 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50～99 人	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
100 人以上	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	13	6	11	6	6	2	3	3	1	1	

在留資格別では、外国人雇用年数に関わらず、「永住者」と「技能実習」が最も多くなっている。

【外国人雇用年数10年未満】事業所・団体数

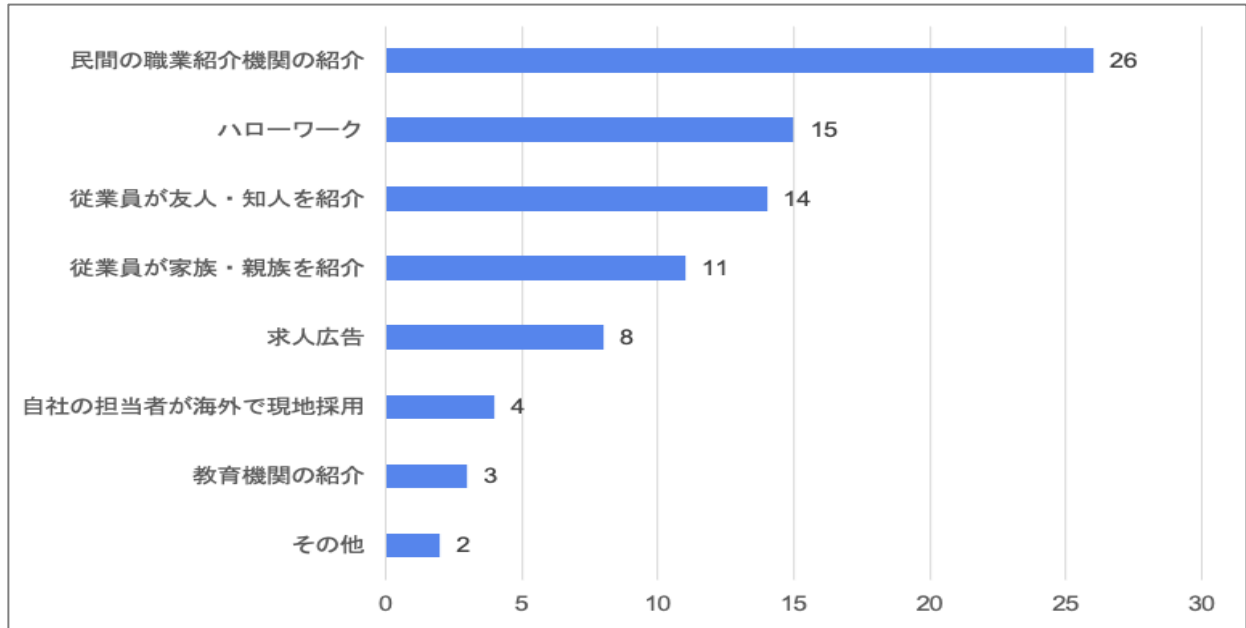
従業員数	正社員	契約社員	契約社員	派遣・	パート・	その他	よくわから ない
		直接雇用	間接雇用	請負	アルバイト		
1～5人	10	6	2	3	6	1	0
6～9人	2	1	0	0	0	1	0
10～19人	0	2	0	1	0	1	0
20～29人	0	0	0	0	0	0	0
30～39人	0	0	0	1	0	0	0
40～49人	0	0	0	0	0	0	0
50～99人	0	0	0	0	0	0	0
100人以上	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	9	2	5	6	3	0

【外国人雇用年数10年以上】事業所・団体数

従業員数	正社員	契約社員	契約社員	派遣・	パート・	その他	よくわから ない
		直接雇用	間接雇用	請負	アルバイト		
1～5人	7	1	0	4	3	1	0
6～9人	0	0	0	2	0	0	0
10～19人	1	0	0	3	0	0	0
20～29人	1	2	0	2	0	1	0
30～39人	1	0	1	0	0	0	0
40～49人	0	0	0	1	0	0	0
50～99人	2	1	0	1	0	0	0
100人以上	0	1	0	0	0	1	0
不明	0	0	0	1	0	0	0
合計	12	5	1	14	3	3	0

雇用人数別では、雇用形態と在留資格のいずれにも関わらず、「1～5人」が最も多くなっている。

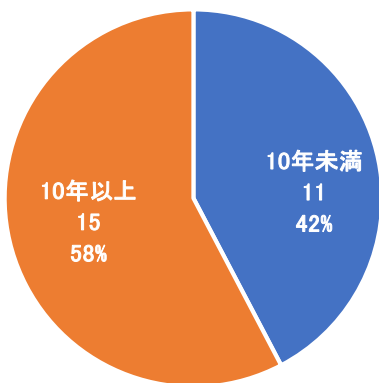
(求人方法)



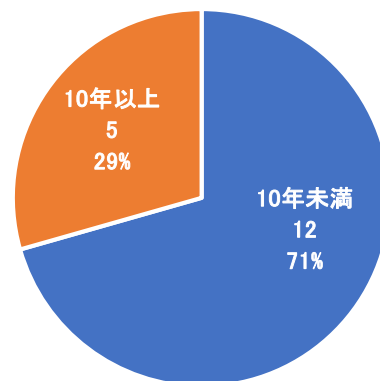
求人方法については、外国人雇用年数に関わらず「民間の職業紹介機関の紹介」が最も多く3割を占めている。また、「10年未満」に比べて「10年以上」では、「ハローワーク」と「従業員が友人・知人を紹介」の割合が少し高くなっている。

(通訳・就労、生活指導)

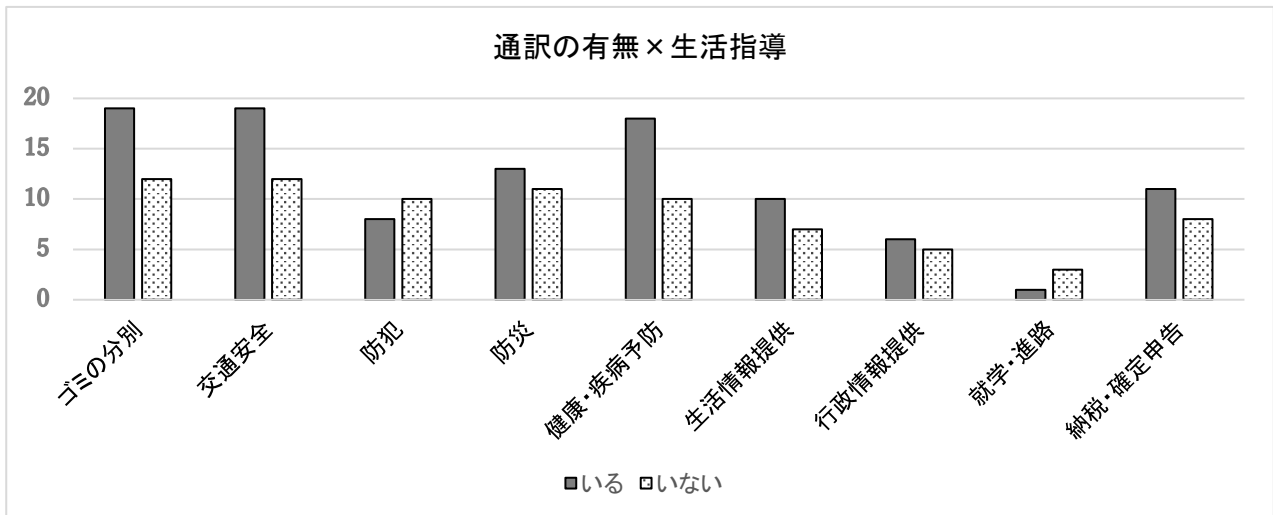
通訳がいる×雇用年数



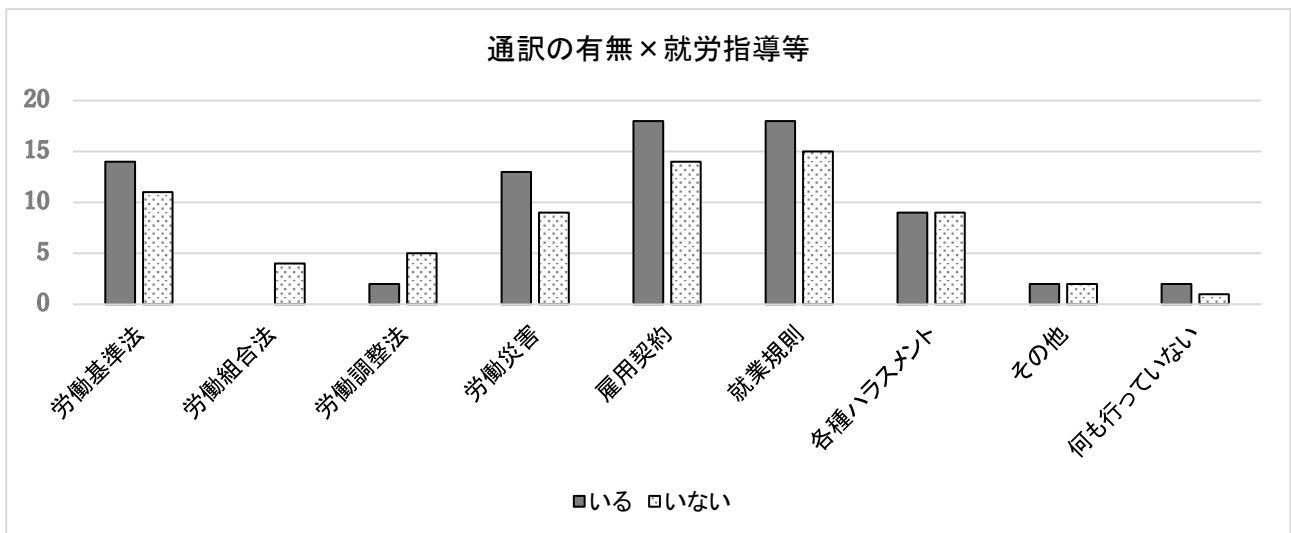
通訳がない×雇用年数



通訳の有無については、「10年未満」に比べ「10年以上」で通訳のいる割合が1.5倍となっている。



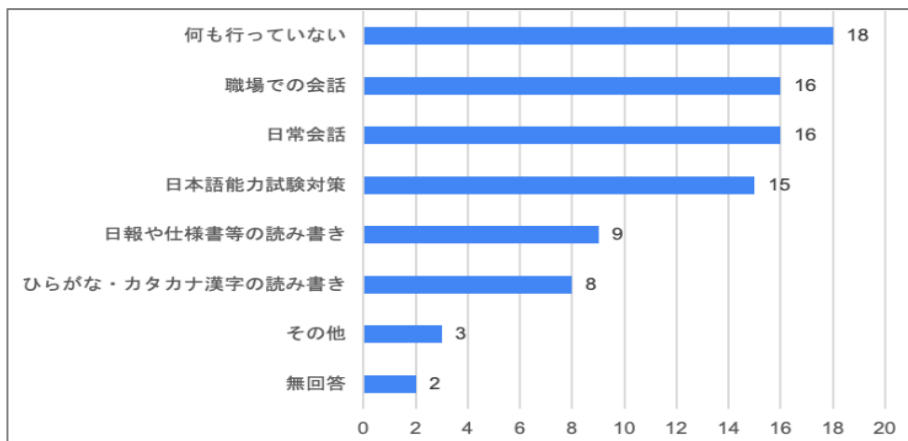
生活指導の実施内容については、通訳の有無によって大きな差は見られなかった。



労働慣行等の指導内容については、「通訳がある」で「労働組合法」について指導していないこと以外は大きな差が見られなかった。

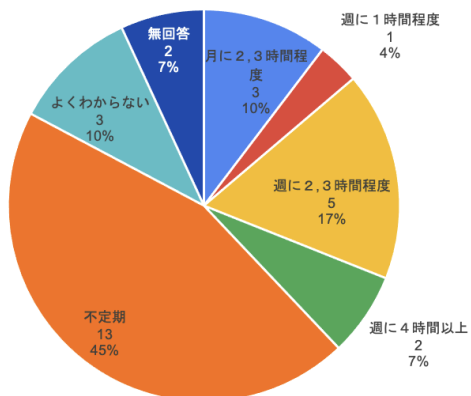
②外国人従業員へのコミュニケーション支援

問 19 外国人従業員に対する日本語教育を行っていますか。

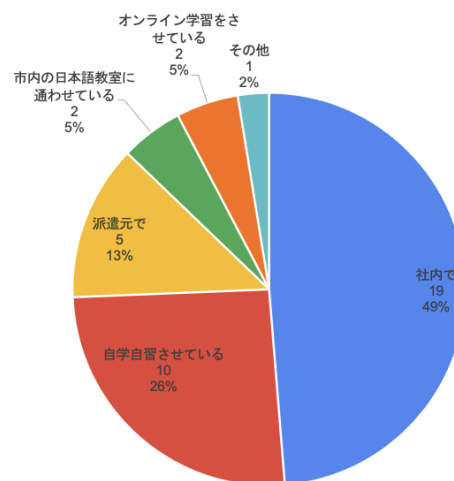


日本語教育については、「何も行っていない」との回答が最も多かった。日本語教育を行なっている事業所等においては、読み書きに比べて会話指導が多く実施されていた。

問 20 日本語教育の時間



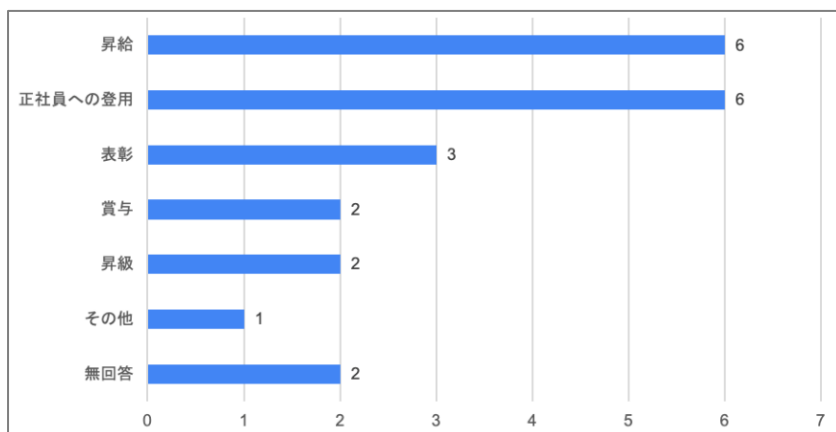
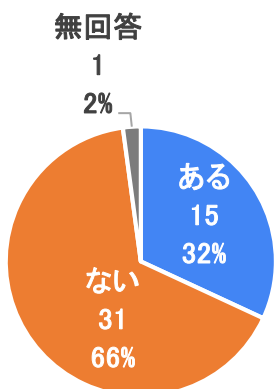
問 21 日本語教育の開催場所



約半数が不定期開催であった。定期開催しているところでは「週に2,3時間程度」が多かった。

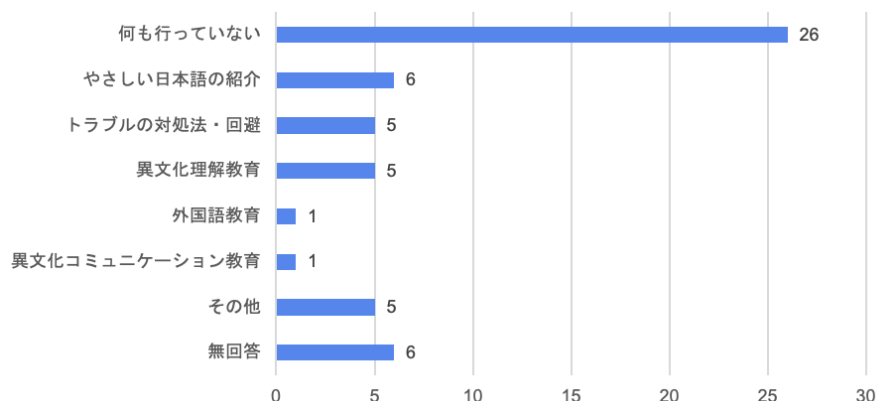
問 22 日本語力向上に対する優遇措置

問 23 優遇措置の具体的な内容



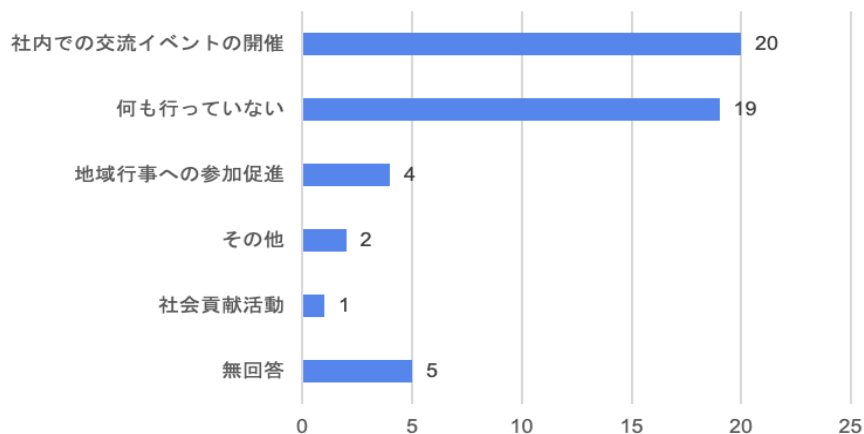
外国人を雇用している事業所等のうち3割で日本語能力が向上した場合に、何らかの優遇措置が「ある」と回答した。「昇給」と「正社員への登用」と答えたところが最も多かった。

問 28 日本人従業員に対する外国人従業員への理解促進



「何も行っていない」と答えた事業所・団体がもっとも多かった。

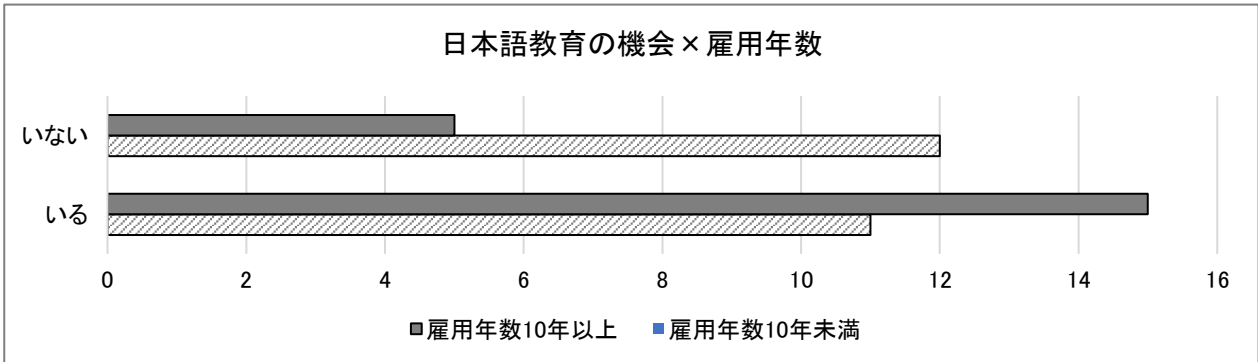
問 29 日本人従業員と外国人従業員との交流機会づくり



「社内での交流イベントの開催」と「何も行っていない」が多く、ほぼ同数であった。

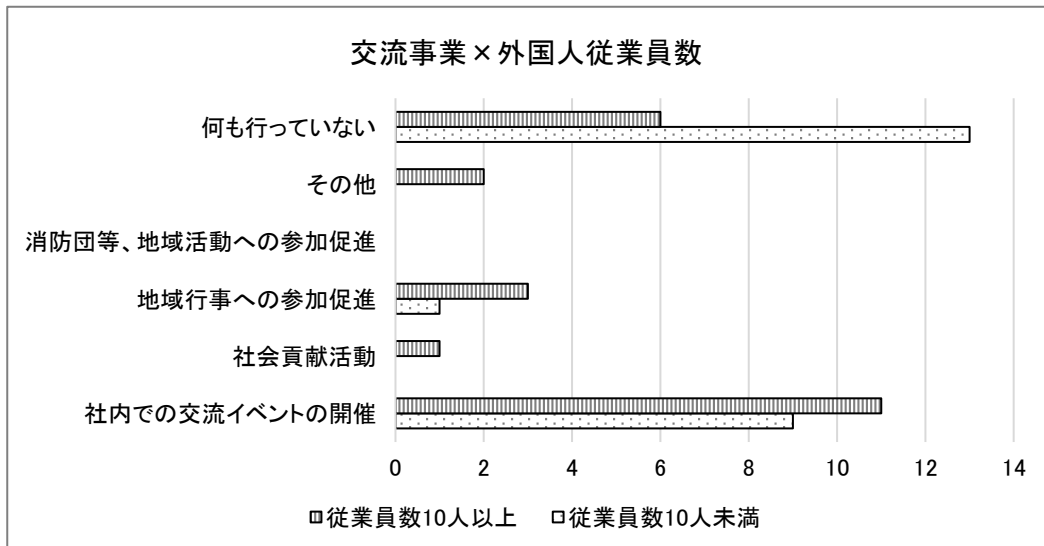
クロス集計結果

(日本語教育)



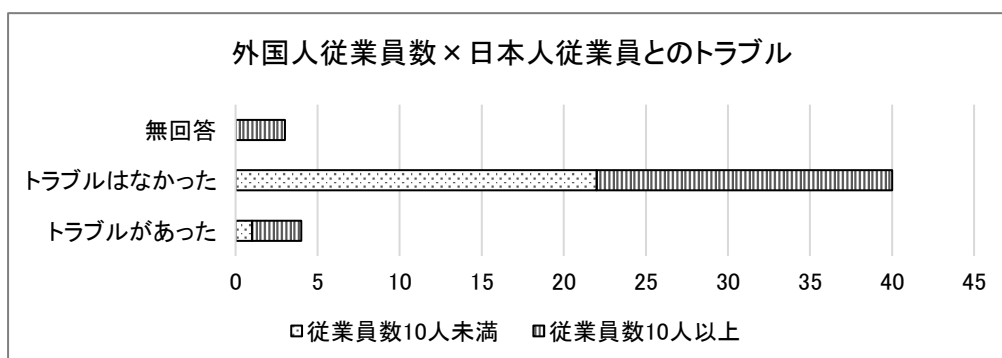
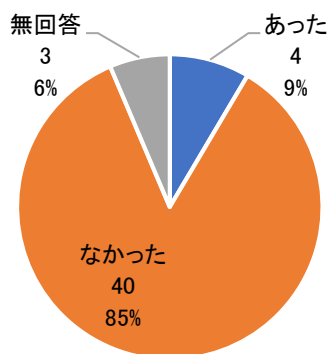
従業員向け日本語教育については、外国人従業員数が「10人未満」に比べて「10人以上」は「何も行っていない」割合が2倍であった。実施内容については従業員数によってそれほど大きな差は見られなかった。

(交流事業)



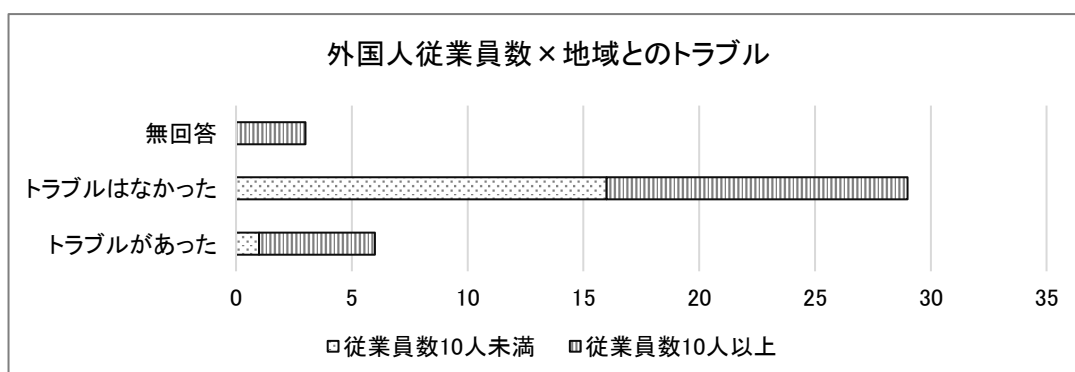
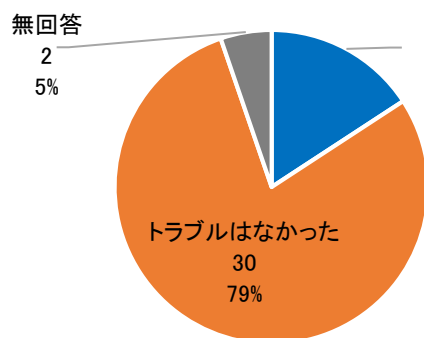
日本人・外国人従業員間の交流機会については、外国人従業員数が「10人未満」で約6割が「何も行っていない」と回答しており、「10人以上」の2倍以上となっている。また、「10人以上」では「社内での交流イベントの開催」に加え、「地域行事への参加促進」も積極的に行われていることがわかった。

問 30 過去 1 年間に、日本人従業員と外国人従業員とのトラブルがありましたか。



外国人従業員が「10人以上」の企業では、8割が「過去1年間に、日本人従業員と外国人従業員とのトラブルはなかった」と答えている。

問 32 過去 1 年間に、外国人従業員と地域住民のトラブルがありましたか。



IV. 參考資料

1. あなたについて

問1 あなたの性別を教えてください。

- ①男性 ②女性 ③男性・女性と回答しにくい方

問2 あなたの年齢を教えてください。

- ①18, 19歳 ②20～24歳 ③25～29歳 ④30～34歳
⑤35～39歳 ⑥40～44歳 ⑦45～49歳 ⑧50～54歳
⑨55～59歳 ⑩60～64歳 ⑪65～69歳 ⑫70歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。

- ①製造業 ②サービス業 ③卸売業・小売業 ④建設業
⑤宿泊業・飲食サービス業 ⑥運輸業・郵便業 ⑦医療・福祉
⑧教育・学習支援業 ⑨その他 ⑩無職 → 問6へ

問4 あなたの雇用形態を教えてください。

- ①経営者 ②正社員 ③契約社員・直接雇用
④契約社員・間接雇用 ⑤派遣・請負 ⑥パート・アルバイト
⑦その他

問5 あなたは伊賀市にどのくらい住んでいますか。

- ①1年未満 ②1～3年 ③4, 5年 ④6～9年
⑤10年以上

問6 伊賀市に住んだ理由を教えてください。

- ①伊賀市生まれだから ②仕事のため ③家族が伊賀市にいる／いたから
④結婚のため ⑤その他

問7 現在の住居形態を教えてください。

- ①持ち家（一戸建て） ②持ち家（マンション等集合住宅）
③賃貸（一戸建て） ④賃貸（マンション等集合住宅）
⑤社宅・寮 ⑥その他

問8 現在、一緒に住んでいる人数（あなた以外）を教えてください。

- ① 0人（あなただけ） ② 1人 ③ 2人 ④ 3人 ⑤ 4人
⑥ 5人以上

問9 伊賀市の住みやすさを教えてください。

- ① とても住みやすい ② まあまあ住みやすい
③ あまり住みやすくない ④ 全然住みやすくない ⑤ どちらとも言えない

問10 問9で選択した理由を教えてください。

--

問11 あなたは、日本以外の国に 90日以上 住んだことがありますか。

- ① ある → 問12へ
② ない → 問14へ

問12 あなたが日本以外の国に住んだ目的を教えてください。（複数選択可）

- ① 仕事のため ② 勉強のため ③ 結婚のため ④ 長期観光のため
⑤ その他

問13 あなたは、日本以外の国にどのくらいの期間住みましたか？（複数ある場合は通算期間をお答えください。）

- ① 90日以上、半年未満 ② 半年以上、1年未満 ③ 1年以上、3年未満
④ 3年以上、5年未満 ⑤ 5年以上、10年未満 ⑥ 10年以上

問14 あなたは、日本語以外に得意な言語（日常会話レベル以上）がありますか。

- ① ある → 問15へ
② ない → 問16へ

問15 問14で回答した言語を教えてください。（複数選択可）

- ① ポルトガル語 ② ベトナム語 ③ 中国語 ④ スペイン語
⑤ タガログ語 ⑥ タイ語 ⑦ 韓国語 ⑧ インドネシア語
⑨ 英語 ⑩ その他（ 語）

2. 伊賀市での暮らしについて（情報・交流）

問 16 あなたは、日常生活に必要な情報をどこから入手していますか。（複数選択可）

- ①家族から ②知人・友人から ③職場の人から ④学校の先生等から
⑤テレビ・新聞から ⑥インターネット・SNS から ⑦市の広報から
⑧市のホームページから ⑨地域の回覧板から ⑩その他

問 17 あなたは、伊賀市に住む外国人の友人や同僚がいますか。

- ①いる → 問 18 へ
②いない → 問 20 へ

問 18 あなたは、日常生活で外国人と会話することがありますか。

- ①よくある ②時々ある ③たまにある ④ほとんどない

問 19 あなたは、日常生活で外国人とどのような交流をされていますか。

- ①あいさつをする程度 ②日常生活の話（世間話）をする程度
③困ったときに助け合える程度 ④家族同様に親しく付き合う程度
⑤その他

問 20 あなたは今後、外国人とどのような交流機会があると思いますか。（複数選択可）

- ①となり近所の人と親しくしたい ②外国の文化を紹介してほしい
③日本の文化や習慣などを教えたい
④ボランティア活動や地域の行事に参加してほしい
⑤地域の防犯・防災活動など ⑥外国人と交流はしたくない ⑦その他

問 21 伊賀市に住む外国人に対して、何かご意見やご要望などありましたら教えてください。

--

問 22 あなたは、これまでの伊賀市での生活において、差別を受けた経験がありますか。

- ①ある → 問 23 へ
②ない → 問 24 へ

問 23 よろしければ、具体的にどのようなことがあったかを可能な範囲で教えてください。

問 24 あなたは今、地域や学校などの活動に参加していますか。(複数選択可)

- ①地区の役員 ②地区活動に参加(清掃活動・祭りなど)
③学校の PTA 役員 ④学校の PTA 活動に参加
⑤ボランティア活動に参加 ⑥クラブやサークルに所属
⑦その他 ⑧分からない ⑨参加したことがない

問 25 あなたは今後、地域や学校などの活動に参加してみたいと思われませんか。(複数選択可)

- ①地区の役員 ②地区活動に参加(清掃活動・祭りなど)
③学校の PTA 役員 ④学校の PTA 活動に参加
⑤ボランティア活動に参加 ⑥クラブやサークルに所属
⑦地域の防犯・防災活動などに参加 ⑧分からない
⑨参加するつもりがない

*** 次のページにつづく**

3. 多文化共生のまちづくりに向けて

問 26 あなたは、伊賀市内にある以下の団体や施設を知っていますか。(複数選択可)

- ①伊賀市国際交流協会 ②伊賀市多文化共生センター
③NPO 法人伊賀の伝丸 ④伊賀日本語の会
⑤伊賀市社会福祉協議会 ⑥①～⑤のいずれも知らない → 問 28 へ

問 27 あなたは、伊賀市内にある以下の団体や施設を利用したことがありますか。(複数選択可)

- ①伊賀市国際交流協会 ②伊賀市多文化共生センター
③NPO 法人伊賀の伝丸 ④伊賀日本語の会
⑤伊賀市社会福祉協議会 ⑥①～⑤のいずれも利用したことがない

問 28 その他、今後の伊賀市の多文化共生施策に関して、ご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

1. あなたについて

問1 あなたの性別を教えてください。

- ①男性 ②女性 ③男性・女性と回答しにくい方

問2 あなたの年齢を教えてください。

- ①18, 19歳 ②20～24歳 ③25～29歳 ④30～34歳
⑤35～39歳 ⑥40～44歳 ⑦45～49歳 ⑧50～54歳
⑨55～59歳 ⑩60～64歳 ⑪65～69歳 ⑫70歳以上

問3 あなたの国籍を教えてください。

- ①ブラジル ②ベトナム ③中国 ④ペルー ⑤フィリピン
⑥タイ ⑦韓国 ⑧インドネシア ⑨その他（ ）

問4 あなたの母語または、いちばん得意な言語はどれですか。

- ①ポルトガル語 ②ベトナム語 ③中国語 ④スペイン語
⑤タガログ語 ⑥タイ語 ⑦韓国語 ⑧インドネシア語
⑨英語 ⑩日本語 ⑪その他（ 語）

問5 あなたの在留資格はどれですか。

- ①永住者 ②定住者 ③技能実習 ④技術・人文知識・国際業務
⑤日本人の配偶者等 ⑥特別永住者 ⑦家族滞在
⑧特定技能 ⑨その他

問6 あなたの職業を教えてください。

- ①製造業 ②サービス業 ③卸売業・小売業 ④建設業
⑤宿泊業・飲食サービス業 ⑥運輸業・郵便業 ⑦医療・福祉
⑧教育・学習支援業 ⑨その他 ⑩無職 → 問8へ

問7 あなたの雇用形態はどれですか。

- ①経営者 ②正社員 ③契約社員・直接雇用
④契約社員・間接雇用 ⑤派遣・請負 ⑥パート・アルバイト

⑦その他

問8 あなたは日本にどのくらい住んでいますか。

- ①半年未満 ②半年以上、1年未満 ③1年以上、3年未満
④3年以上、5年未満 ⑤5年以上、10年未満 ⑥10年以上

問9 あなたは何歳のときに日本に来ましたか。

- ①日本生まれ ②0～9歳 ③10～15歳 ④16～19歳
⑤20～29歳 ⑥30～39歳 ⑦40～49歳 ⑧50～59歳
⑨60～69歳 ⑩70歳以上

問10 あなたは伊賀市にどのくらい住んでいますか。

- ①1年未満 ②1～3年 ③4,5年 ④6～9年
⑤10年以上

問11 伊賀市に住んだ理由は何ですか。

- ①伊賀市生まれだから ②仕事のため ③家族が伊賀市にいる／いたから
④結婚のため ⑤その他

問12 現在の住居形態を教えてください。

- ①持ち家（一戸建て） ②持ち家（マンション等集合住宅）
③賃貸（一戸建て） ④賃貸（マンション等集合住宅）
⑤社宅・寮 ⑥その他

問13 現在、一緒に住んでいる人は何人ですか。（あなた以外）。

- ①0人（あなただけ） ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人
⑥5人以上

問14 伊賀市に住んで良かったと感じていますか。

- ①とても感じている ②だいたい感じている
③どちらでもない ④あまり感じていない ⑤全く感じていない

問15 問14で選択した理由を教えてください。

--

2 . 日本語力について

問 18 あなたは、日本語をどのくらい理解できますか？下の[聞く][話す][読む][書く]について、それぞれ a. ~e. から1つずつ選んでください。

18-1

- [①聞く] a. 会話が、すべて理解できる
b. 会話が、大体理解できる
c. ゆっくり話してくれれば、大体理解できる
d. ゆっくり話してくれれば、少し理解できる
e. ほとんどわからない

18-1-2

- [①-2 聞く] 問 18-1 で a~ d を選んだ方にお伺いします。どのような内容ですか。【複数回答可】
- a. 近所や日本人との日常会話
b. 保育所・幼稚園・学校からのお知らせと連絡
c. 会社の指示や命令、ルールなどを聞いて、その通り動ける
d. 病院での手続き（受付・支払い）
e. 医師の問診や病状の説明
f. テレビ、ラジオ

18-2

- [②話す] a. 自分の言いたいことが母語と同じくらい話せる
b. 母語ほどではないが、自分の言いたいことが大体話せる
c. 単語や短い文で、自分の言いたいことが少し言える
d. 自己紹介や挨拶ぐらいであれば言える
e. ほとんど話せない

18-3

- [③読む] a. 生活や仕事に必要な書類等を読んで、十分に理解できる
b. 生活や仕事に必要な書類等を読んで、大体理解できる
c. 漢字にひらがなでルビが付いていれば、大体理解できる
d. 短くて簡単な日本語で書いてあれば、大体理解できる
e. ほとんど読めない

18-3-2

〔③-2 読む〕 問 18-3 で a～d を選んだ方にお伺いします。どのようなものですか。【複数回答可】

- a. 建物名や看板の文字（図書館・銀行・公園など）
- b. 保育所・幼稚園・学校からのお知らせ
- c. 仕事のマニュアルや日誌、指示書など
- d. 病院での手続き（受付・支払い）
- e. 病院の問診票や薬の飲み方
- f. 新聞・雑誌

18-4

- 〔④書く〕
- a. 生活や仕事に必要な文章がすべて書ける
 - b. 生活や仕事に必要な文章が大体書ける
 - c. 漢字を使って、会社や学校の名前、住所等が書ける
 - d. ひらがなとカタカナで、会社や学校の名前、住所等が書ける
 - e. ほとんど書けない

問 19 あなたは今、日本語を学んでいますか？

- ① はい → 問 21 へ
- ② いいえ → 問 20 へ

問 20 今、日本語を学んでいない理由を教えてください。（複数選択可）

- ① もう十分に日本語ができるから（日本語で困っていないから）
- ② 日本語を学びたくないから
- ③ 日常生活や仕事で日本語を使うことがないから
- ④ 忙しくて日本語を学ぶ時間がないから
- ⑤ 近所に日本語教室がないから
- ⑥ 日本語教室に通うお金がないから
- ⑦ その他

*** 問 23 へ**

問 21 どうやって日本語を学習していますか？（複数選択可）

- ① 家で、自分で学習している
- ② 会社で日本人従業員に教えてもらっている
- ③ 会社で日本語の先生に教えてもらっている
- ④ ボランティア教室で勉強している
- ⑤ その他

問 22 日本語を学ぶ目的は何ですか？（複数選択可）

- ①生活するために必要だから
- ②現在の仕事に必要なだから
- ③より条件のよい仕事に就きたいから
- ④帰国後に日本語を使った仕事をしたいから
- ⑤日本人と親しくなりたいから
- ⑥日本語や日本の文化が好きだから
- ⑦家族とのコミュニケーションのため
- ⑧学校の先生とのコミュニケーションのため
- ⑨日本語能力試験（JLPT）や実用日本語検定（J. TEST）合格のため
- ⑩その他

問 23 今後、どのような日本語学習機会があればいいと思いますか？（複数選択可）

- ①近所や職場の人が教えてくれるといい
- ②インターネットやアプリ等で日本語が学習できるといい
- ③通信講座等、自宅で日本語を学習できる教材があるといい
- ④家庭教師の派遣があるといい
- ⑤勉強するつもりはない
- ⑥その他

*** 次のページにつづく**

3. 伊賀市での暮らしについて（情報・交流）

問 24 あなたは、日常生活に必要な情報をどこから入手していますか。（複数選択可）

- ①家族から ②知人・友人から ③職場の人から ④学校の先生等から
⑤テレビ・新聞から ⑥インターネット・SNS から ⑦市の広報から
⑧市のホームページから ⑨地域の回覧板から ⑩その他

問 25 仕事や子育てなど、あなたが今、生活上で困っていることや心配していることがあれば教えてください。

問 26 あなたは、伊賀市に住む日本人の友人や同僚がいますか。

- ①いる → 問 27 へ
②いない → 問 29 へ

問 27 あなたは、日常生活で日本人と会話することがありますか。

- ①よくある ②時々ある ③たまにある ④ほとんどない

問 28 あなたは、日常生活で日本人とどのような交流をしていますか。

- ①あいさつをする程度 ②日常生活の話（世間話）をする程度
③困ったときに助け合える程度 ④家族同様に親しく付き合う程度
⑤その他

問 29 あなたは今後、日本人とどのような交流機会があるといいと思いますか。（複数選択可）

- ①となり近所の人と親しくしたい ②日本の文化を紹介してほしい
③母国の文化や習慣などを教えたい
④ボランティア活動や地域の行事に参加したい
⑤交流はしたくない ⑥その他

問 30 伊賀市に住む日本人に対して、何かご意見やご要望などありましたら教えてください。

問 31 あなたは、これまでの伊賀市での生活において、3年以内に差別を受けた経験がありますか。

①ある → 問 32 へ

②ない → 問 33 へ

問 32 よろしければ、具体的にどのようなことがあったかを可能な範囲で教えてください。

問 33 あなたは今、地域や学校などの活動に参加していますか。(複数選択可)

①地区の役員 ②地区活動に参加 (清掃活動・祭りなど)

③学校の PTA 役員 ④学校の PTA 活動に参加

⑤ボランティア活動に参加 ⑥クラブやサークルに所属

⑦その他 ⑧ 分からない ⑨ 参加したことがない

問 34 あなたは今後、地域や学校などの活動に参加してみたいと思いますか。(複数選択可)

①地区の役員 ②地区活動に参加

③学校の PTA 役員 ④学校の PTA 活動に参加

⑤ボランティア活動に参加 ⑥クラブやサークルに所属

⑦地域の防犯・防災活動などに参加 ⑧その他

⑨ 分からない ⑩ 参加するつもりがない

* 次のページにつづく

4. 多文化共生のまちづくりに向けて

問 35 あなたは、伊賀市内にある以下の団体や施設を知っていますか。(複数選択可)

- ①伊賀市国際交流協会 ②伊賀市多文化共生センター
③NPO 法人伊賀の伝丸 ④伊賀日本語の会
⑤伊賀市社会福祉協議会 ⑥①～⑤のいずれも知らない → 問 37 へ

問 36 あなたは、伊賀市内にある以下の団体や施設を利用したことがありますか。(複数選択可)

- ①伊賀市国際交流協会 ②伊賀市多文化共生センター
③NPO 法人伊賀の伝丸 ④伊賀日本語の会
⑤伊賀市社会福祉協議会 ⑥①～⑤のいずれも利用したことがない

問 37 子どものことで心配なことはあります(ありました)か。(複数選択可)

- ①学力のこと ②進路(進学・就職)のこと ③友人関係のこと
④子どもと先生とのコミュニケーションのこと
⑤親と先生とのコミュニケーションのこと ⑥親子のコミュニケーションのこと
⑦心配なことはない(なかった) ⑧その他()

問 38 あなたやあなたの家族のことについて、将来心配なことはありますか。(複数選択可)

- ①仕事のこと ②健康のこと ③親の介護のこと ④結婚のこと
⑤出産・子育てのこと ⑥住まいのこと ⑦災害時のこと
⑧教育費や老後のお金のこと ⑨周りに相談できる人がいないこと
⑩子どもが母国の言葉や文化を知らないこと ⑪心配なことはない
⑫その他()

問 39 あなたは、これまでに伊賀市以外のまちに住んだことがありますか。

- ①ある → 問 40 へ ②ない → 問 42 へ

問 40 以前に住まわれたまちと比べて、伊賀市は多文化共生が進んでいると感じますか。

- ①とても進んでいると思う ②少し進んでいると思う ③変わらない
④少し遅れていると思う ⑤とても遅れていると思う

問 41 問 40 で選択した理由を教えてください。差し支えなければ（よければ）、以前住まわれたまちも教えてください。

以前住んでいたまち：（ ）都・道・府・県（ ）市・町・村 理由：

問 42 その他、今後の伊賀市の多文化共生施策に関して、ご意見・ご要望・ご質問等を自由にお書きください。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

1. 貴事業所・団体について

問1 事業所・団体の業種を教えてください。

- ①製造業 ②サービス業 ③卸売業・小売業 ④建設業
⑤宿泊業・飲食サービス業 ⑥運輸業・郵便業 ⑦医療・福祉
⑧教育・学習支援業 ⑨人材派遣業 ⑩その他

問2 事業所・団体の従業員数を教えてください。

- ①10人未満 ②10人以上、30人未満 ③30以上、50人未満
④50人以上、100人未満 ⑤100人以上、300人未満 ⑥300人以上

問3 事業所・団体では現在、外国人を雇用されていますか（雇用形態を問わず）。

- ①雇用している→p. 2の問9へ
②雇用していない→問4へ

問4 事業所・団体では今後、外国人を雇用する可能性がありますか。

- ①大いにある ②少しある ③あまりない
④まったくない→問7へ
⑤よくわからない

問5 事業所・団体で今後、雇用してみたいと思う外国人の国籍は次のうちどれですか。

（複数選択可）

- ①ブラジル ②ベトナム ③中国 ④ペルー
⑤フィリピン ⑥タイ ⑦韓国 ⑧インドネシア
⑨国籍は問わない ⑩その他 ⑪よくわからない

問6 事業所・団体で今後、雇用してみたいと思う外国人の在留資格は次のうちどれですか。（複数選択可）

- ①永住者 ②定住者 ③技能実習 ④技術・人文知識・国際業務
⑤日本人の配偶者等 ⑥特別永住者 ⑦家族滞在 ⑧特定技能
⑨国籍は問わない ⑩その他 ⑪よくわからない

問7 事業所・団体では、外国人雇用に関する相談窓口の必要性を感じていますか。

- ①大いに感じる ②多少は感じる ③あまり感じない
④まったく感じない ⑤よくわからない

問8 外国人雇用に関して、市に対するご意見やご要望等ありましたらご自由にお書きください。

外国人を雇用していない場合、アンケートはここまでです。
ご協力ありがとうございました。

問9 事業所・団体で外国人を雇用したのは、いつごろからですか。

- ①1年以内 ②1年以上前～3年以内 ③3年以上前～5年以内
④5年以上前～10年以内 ⑤10年以上前 ⑥よくわからない

問10 事業所・団体における現在の外国人従業員数を教えてください。（雇用形態を問わず）

- ①1～5人 ②6～9人 ③10～19人 ④20～29人
⑤30～39人 ⑥40～49人 ⑦50～99人 ⑧100人以上
⑨よくわからない

問11 事業所・団体における現在の外国人従業員の雇用形態と人数を教えてください。（複数選択可）

- ①正社員（ 人） ②契約社員・直接雇用（ 人）
③契約社員・間接雇用（ 人） ④派遣・請負（ 人）
⑤パート・アルバイト（ 人） ⑥その他（ 人）
⑦よくわからない

問12 事業所・団体における現在の外国人従業員の在留資格と人数を教えてください。（複数選択可）

- ①永住者（ 人） ②定住者（ 人） ③技能実習（ 人）
④技術・人文知識・国際業務（ 人） ⑤日本人の配偶者等（ 人）
⑥特別永住者（ 人） ⑦家族滞在（ 人）
⑧特定技能（ 人） ⑨その他（ 人）
⑩よくわからない

問13 事業所・団体が外国人従業員を募集する方法は、以下のどれにあたりますか。（複数選択可）

- ①ハローワーク ②民間の職業紹介機関の紹介 ③求人広告
④教育機関の紹介 ⑤従業員が家族・親族を紹介
⑥従業員が友人・知人を紹介 ⑦自社の担当者が海外で現地採用
⑧その他

問14 事業所・団体には外国語で通訳できる人がいますか。

- ①いる→問15へ
- ②いない→問16へ

問15 何語の通訳がいますか。（複数選択可）

- ①ポルトガル語 ②ベトナム語 ③中国語 ④スペイン語
- ⑤タガログ語 ⑥タイ語 ⑦韓国語 ⑧インドネシア語
- ⑨英語⑩ その他（ 語）

問16 事業所・団体では外国語の自動翻訳機や翻訳アプリ等を活用されていますか。

- ①活用している
- ②活用していない

* 次のページにつづく

2. 現在の雇用について

<外国人従業員>

問17 外国人従業員に対して、通訳を介すなど外国人従業員が理解できる方法で、ゴミの分別や交通安全等、以下のような生活指導を行っていますか。（複数選択可）

- ①ゴミの分別 ②交通安全 ③防犯 ④防災
⑤健康・疾病予防 ⑥生活情報提供 ⑦行政情報提供
⑧就学・進路 ⑨納税・確定申告 ⑩その他
⑪何も行ってない

問18 外国人従業員に対して、通訳を介すなど外国人従業員が理解できる方法で、労働慣行や就業規則等、以下のような指導を行っていますか。（複数選択可）

- ①労働基準法に関する事 ②労働組合法に関する事
③労働調整法に関する事 ④労働災害に関する事
⑤雇用契約に関する事 ⑥就業規則に関する事
⑦各種ハラスメントに関する事 ⑧その他
⑨何も行ってない

問19 外国人従業員に対して、日本語教育を行っていますか。（複数選択可）

- ①日常会話 ②ひらがな・カタカナ・漢字の読み書き
③職場での会話 ④日報や仕様書等の読み書き
⑤日本語能力試験対策 ⑥その他
⑦何も行ってない→p. 6の問22へ

問20 どのくらいの時間、教育を行っていますか。

- ①月に1時間程度 ②月に2,3時間程度 ③週に1時間程度
④週に2,3時間程度 ⑤週に4時間以上 ⑥不定期
⑦よくわからない

問21 どこで教育をされていますか。（複数選択可）

- ①社内で ②派遣元で ③市内の日本語教室に通わせている
④自学自習させている ⑤オンライン学習をさせている
⑥その他

*** 次のページにつづく**

問22 外国人従業員の日本語力が向上した場合、なんらかの優遇措置がありますか。

- ①ある→問23へ
- ②ない→問24へ

問23 具体的に、以下のような優遇措置がありますか。（複数選択可）

- ①正社員への登用 ②昇級 ③昇給 ④賞与
- ⑤表彰 ⑥希望する部署への異動 ⑦その他

問24 現在の外国人従業員雇用について、どのように感じていますか。

- ①とても満足している ②おおむね満足している
- ③やや不満がある ④とても不満がある ⑤どちらとも言えない

問25 問24で選択された理由を教えてください。

問26 その他、外国人従業員向けにされている支援等がありますか。

- ①ある→問27へ
- ②ない→p. 7の問28へ

問27 具体的に、どのようなことをされているか教えてください。

*** 次のページにつづく**

<日本人従業員>

問28 日本人従業員に対して、以下のような外国人従業員への理解促進等を行っていますか。（複数選択可）

- ①異文化理解教育 ②異文化コミュニケーション教育
③外国語教育 ④やさしい日本語の紹介
⑤外国の労働法・労働慣行等の紹介 ⑥トラブルの対処法・回避
⑦何も行っていない⑧その他

問29 日本人従業員と外国人従業員との交流機会づくりを行っていますか。（複数選択可）

- ①社内での交流イベントの開催 ②社会貢献活動
③地域行事への参加促進 ④消防団等地域活動への参加促進
⑤何も行っていない ⑥その他

問30 過去1年間に、日本人従業員と外国人従業員とのトラブルがありましたか。

- ①あった→問31へ
②なかった→問32へ

問31具体的に、どのようなことがあったか可能な範囲で教えてください。

問32 過去1年間に、外国人従業員と地域住民とのトラブルがありましたか。

- ①あった→問33へ
②なかった→p. 8の問34へ

問33 具体的にどのようなことがあったか、可能な範囲で教えてください。

3. 非常時への対応について

問34 地震や台風等の大規模災害時の対応について、事業継続計画（BCP）等で外国人従業員への情報提供や安全な避難誘導等が具体的に定められていますか。

① 定めている ② 定めていない ③ 現在、策定中

問35 新型コロナウイルス感染症への対応について、外国人従業員への情報提供や感染防止対策、感染が疑われた際の対応等が具体的に定められていますか。

① 定めている ② 定めていない ③ 現在、策定中

問36 ご回答に関して、後日改めて詳細をお聞きすることがあるかもしれません。電話または対面によるヒアリングに応じていただける場合は、ご連絡先等を教えてください。

会社名		所在地	
部署名		担当者名	
電話番号		E-mail	